

帝國議會 貴族院議事速記錄第十四號

第四十三回

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案
日本興業銀行法中改正法律案

大正九年七月二十二日(金曜日)

午前十時七分開議

議事日程 第十四號 大正九年七月二十二日

午前十時開議

第一 現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第二 南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第三 大正八年法律第九號中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第四 議院法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年勅令第八十七號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

大正八年法律第九號中改正法律案可決報告書

第五 小額紙幣發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

議院法中改正法律案可決報告書

小額紙幣發行ニ關スル法律案可決報告書

第六 公有林野官行造林法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

公有林野官行造林法案可決報告書

第七 關稅定率法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

關稅定率法中改正法律案可決報告書

第八 貨幣法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

貨幣法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案

○議長(公爵徳川家達君) 昨二十二日本院議員ニ當選セラレマシタ、男爵伊達宗曜君ノ席次ハ、楠本男爵ノ次席ト確定シ、其部屬ヲ第三部ニ定メマシタ、是ヨリ諸般ノ報告ヲ致セマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キ、議事日程ニ移リマス、是ヨリ本日ノ會議ヲ開キ、議事日程ニ移リマス、

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キ、議事日程ニ移リマス、

〔成瀬書記官朗讀〕

一昨二十一日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

實業教育費國庫補助法中改正法律案

銀行條例中改正法律案

貯蓄銀行條例中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル奈良市上水道工事費國庫補助ノ請願外二十件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案外十二件特別委員會

委員長 荒井賢太郎君 副委員長 小山健三君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第三回報告書

關稅定率法中改正法律案可決報告書

從四位 男爵伊達宗曜君

昨二十二日男爵議員補闕選舉ニ當選セラル

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正九年勅令第八十七號(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

大正八年法律第九號中改正法律案可決報告書

議院法中改正法律案可決報告書

小額紙幣發行ニ關スル法律案可決報告書

公有林野官行造林法案可決報告書

第七 關稅定率法中改正法律案可決報告書

第一讀會ノ續(委員長報告)

貨幣法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經ナルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付

候也

大正九年七月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

恩給扶助料等ノ増額ニ關スル法律案

衆議院議長奥敏三郎

モノヲ受ケ又ハ受クヘキ者ニ付之ヲ準用ス
第六條 本法ニ依ル加給金額圓位未滿ハ之ヲ

附
則

第一條 大正九年七月三十一日現在ニ於テ國庫ヨリ軍人恩給以外ノ恩給、退隱料又ハ扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ者ノ恩給、退隱料又ハ扶助料ノ年額ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ年額ニ其ノ十割以内ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノトス但シ七千五百圓以上ノ年俸ニ基ク恩給又ハ扶助料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本法施行ノ際休職、非職、待命中ノ者又ハ其ノ遺族本法施行前ノ俸給ニ基キ國庫ヨリ軍人恩給以外ノ恩給、退隱料又ハ扶助料ヲ受クヘキ場合ニ於テハ其ノ金額算出ノ基礎タル俸給年額又ハ月俸額ハ其ノ額ニ勅令ノ定

第二條 大正九年七月三十一日現在ニ於テ軍人恩給（恤助金及賑
恤金ヲ除ク）ヲ受ケ若ハ受クヘキ者又ハ本法施行後軍人恩給ヲ受クヘキ事由ノ生シタル者ノ恩給金額ハ軍人恩給法第一號表乃至第四號表ノ金額ニ左ノ割合ヲ以テ計算シ

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ニ

大正九年七月十三日

官等		將官及相當官	佐尉官及相當官	准士官下士及卒
高	等	官	官	
一等	二等	三等	四等	五等
六等	七等	八等		
九等			判任官	准士官
			二等以	下士及卒
一〇等			判任官	

第三條 前二條ノ規定ハ恩給、軍人恩給、退隱料又ハ扶助料ニ準スヘキモ

現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案

第四條 第一條ノ規定ハ大正二年法律第七號ニ依リ休職ヲ命セラレタル判事及檢事並大正二年法律第十二號ニ依リ休職ヲ命セラレタル會計檢查院

及行政裁判所ノ高等官ノ休職給ニ付之ヲ準用ス

第五條 第一條及第三條ノ規定ハ大正九年七月三十一日現在ニ於テ市町村

立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、巡查

看守給助例、巡查看守退隱料及遺族扶助料法又ハ明治四十三年法律第三十號ニ依リ北海道地方費又ハ府縣ヨリ退隱料、扶助料又ハ之ニ準スヘキ

一 增加恩給又八增加退隱料

毛
ノ
見

二 前號ニ掲タルモノヲ除キタル恩給又ハ退隱料ニシテ年額千九百圓未

(政府提出案參考ノ爲メ茲ニ載錄ス)

第一條 大正九年三月三十一日現在ニ於テ軍人恩給ヲ除クノ外國庫ヨリ恩
給、恩懲料又ハ扶助料ヲ受クヘキ者ノ恩給、恩懲料又ハ扶助料ノ年額ハ

左ノ區分ニ依ル

一 增加恩給又八增加退隱料

勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ年額ニ其ノ十割以内ノ金額ヲ加ヘタル

二 前號ニ掲タルモノヲ除キタル恩給又ハ退隱料ニシテ年額千九百圓未

本法ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ大正九年七月三十一日現在ニ
於テ恩給、軍人恩給、退隱料、扶助料又ハ之ニ準スヘキモノヲ受ケ又ハ受
クヘキ者ニ付テハ大正九年七月一日以後ノ分ヨリ之ヲ適用ス
名譽進級ニ因リ階等ヲ進メラレタル軍人又ハ其ノ遺族ニシテ大正九年七月
三十一日現在ニ於テ進級前ノ階等ニ應スル恩給(給助金ヲ除ク)又ハ之ニ基ク扶
助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ者ハ大正九年七月一日ヨリ名譽進級ニ因ル階等ニ
應スル恩給又ハ之ニ基ク扶助料ヲ受クルノ權ヲ有スルモノトス

満ノモノ

甲 年額七十五圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ三分ノ二ニ相當スル金額ヲ加ヘタル額

乙 年額七十五圓ヲ超エ三百圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ三分ノ一ニ相當スル金額及二十五圓ヲ加ヘタ

ル額

丙 年額三百圓ヲ超エ七百五十圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ十分ノ三ニ相當スル金額及三十五圓ヲ加ヘタ

ル額

丁 年額七百五十圓ヲ超エ千四百四十圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ二百六十圓ヲ加ヘタル額

戊 年額千四百四十圓ヲ超エ千六百圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ年額ト千七百圓トノ差額ヲ加ヘタル額

己 年額千六百圓ヲ超ユルモノ

其ノ年額ニ百圓ヲ加ヘタル額但シ年額千九百圓ヲ超ユルコト

ヲ得ス

扶助料ニシテ年額六百四十圓未満ノモノ

甲 年額二十五圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ三分ノ二ニ相當スル金額ヲ加ヘタル額

乙 年額二十五圓ヲ超エ百圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ百分ノ三十四ニ相當スル金額及八圓ヲ加ヘタ

ル額

丙 年額百圓ヲ超エ二百五十圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ十分ノ三ニ相當スル金額及十二圓ヲ加ヘタル

額

丁 年額二百五十圓ヲ超エ四百八十圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ八十七圓ヲ加ヘタル額

戊 年額四百八十圓ヲ超エ五百三十三圓ヲ超エサルモノ

其ノ年額ニ其ノ年額ト五百六十七圓トノ差額ヲ加ヘタル額

己 年額五百三十三圓ヲ超ユルモノ

其ノ年額ニ三十四圓ヲ加工タル額但シ年額六百四十四圓ヲ超

ユルコトヲ得ス

増加恩給若ハ増加退隱料ヲ受クル者ノ遺族又ハ公務ノ爲死去シタル者若ハ之ニ準スヘキ者ノ遺族ノ受ク又ハ受クヘキ扶助料ニ付テハ勅令ノ定ム

ル所ニ依リ其ノ年額ヲ二分シ各部分ニ付前項第三號ノ規定ヲ適用ス

第二條 大正九年三月三十一日現在ニ於テ軍人恩給ヲ受ク又ハ受クヘキ者ノ恩給年額ハ其ノ年額ニ左ノ割合ヲ以テ計算シタル金額ヲ加ヘタルモノ

トス但シ増加恩給ニ付テハ前條第一項第一號ノ例ニ依ル

官 相 當 官	官							准士官 下士及 卒
	高 等	佐 尉 官	及	相 當 官	判任官 二等以 下	判任官 二等以 上		
等 級 割 合	一 等 割 合	二 等 割 合	三 等 割 合	四 等 割 合	五 等 割 合	六 等 割 合	七 等 割 合	八 等 割 合
二、 割								
二、 割								
三、 割								
三、 割								
六、 割								
三、 割								
八、 割								
四、 割								
三、 割								
四、 割								
七、 割								
四、 割								
七、 割								
四、 割								
六、 割								

前項ノ規定ニ該當スル軍人ノ遺族大正九年四月一日以後扶助料ヲ受クヘキ場合ニ於テハ其ノ扶助料年額ニ付前項ノ規定ヲ準用ス

第三條 前二條ノ規定ハ恩給、軍人恩給、退隱料、扶助料、增加恩給又ハ

増加退隱料ニ準スヘキモノニ之ヲ準用ス

第四條 第一條第一項第二號ノ規定ハ大正二年法律第七號ニ依リ休職ヲ命セラレタル判事及檢事並大正二年法律第十二號ニ依リ休職ヲ命セラレタル會計檢查院及行政裁判所ノ高等官ノ休職給ニ付之ヲ準用ス

第五條 第一條及第三條ノ規定ハ大正九年三月三十一日現在ニ於テ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、巡查看守給助例、巡查看守退隱料及遺族扶助料法又ハ明治四十三年法律第三十號ニ依リ北海道地方費又ハ府縣ヨリ退隱料、扶助料又ハ之ニ準スヘキモノヲ受ケ又ハ受クヘキ者ニ付之ヲ準用ス

第六條 本法ニ依ル加給金額圓位未満ハ之ヲ圓位ニ満タシム

附 則

本法ハ大正九年四月一日以後ノ分ヨリ之ヲ適用ス但シ第四條ノ休職給ニ付テハ大正九年八月一日以後ノ分ヨリ之ヲ適用ス名譽進級ニ因リ階等ヲ進メラレタル軍人又ハ其ノ遺族ニシテ大正九年三月三十一日現在ニ於テ進級前ノ階等ニ應スル恩給（給助金及賑金ヲ除ク）又ハ之ニ基ク扶

助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ者ハ同日ヨリ名譽進級ニ因ル階等ニ應スル恩給又ハ之ニ基ク扶助料ヲ受クルノ權ヲ有スルモノトス
前項ノ規定ハ大正九年四月一日以後同年四月二十一日迄ノ間ニ名譽進級ニ因リ階等ヲ進メラレタル軍人又ハ其ノ遺族ニシテ進級前ノ階等ニ應スル恩給又ハ之ニ基ク扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ事由ノ生シタル者ニ之ヲ準用ス
〔參照〕

大正二年法律第七號

第一條 裁判所構成法中改正法律並裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律ノ施行ニ際シ司法大臣ハ判事及檢事中三百三十二人ヲ限り休職ヲ命スルコトヲ得但シ判事ニ休職ヲ命スルニハ願ニ依ル場合ヲ除クノ外大審院ノ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第二條 前條ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレタル判事及檢事ニハ現俸三分ノ一ヲ支給ス但シ在職二十五年以上ノ者ニハ二分ノ一迄ヲ支給スルコトヲ得

第三條 第一條ニ掲タル法律施行ノ際ニ限り裁判所構成法中判事ノ轉所ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
附 則

(大正二年勅令第五十四號ヲ以テ同年四月二十一日ヨリ施行)

大正二年法律第十二號

第一條 會計檢查院法中改正法律ノ施行ニ際シ會計檢查官五人ヲ限り之ニ休職ヲ命スルコトヲ得

第二條 本法ノ施行ニ際シ行政裁判所高等官八人ヲ限り之ニ休職ヲ命スルコトヲ得

第三條 前二條ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレタル者ニハ現俸三分ノ一ヲ支給ス但シ在職二十五年以上ノ者ニハ二分ノ一迄ヲ支給スルコトヲ得

附 則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(大正二年勅令第五百五號ヲ以テ同年六月十三日ヨリ施行)

第一條 明治二十三年法律第九十號ハ第十五條ヲ除キ公立實業補習學校ノ

教員及小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園ノ保姆ニ適用シ同年法律第九十一號ハ第一條及第二十條ヲ除キ公立ノ高等女學校專門學校實業學校(實業補習學校ヲ除ク)及其ノ他ノ公立學校ノ學校長教員舍監及書記竝公立圖書館ノ館長、司書及書記ニ適用ス
第二條 明治二十三年法律第九十號第二條及同年法律第九十一號第三條ハ非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シ及校務ノ伸縮ニ依リ退職ヲ命シタル場合ニモ適用ス
退隱料ハ本職最終ノ俸額ニ依リ之ヲ算定ス
第三條 明治二十三年法律第九十號同年法律第九十一號及此ノ法律ニ依リ退隱料等ヲ受クヘキ學校長、圖書館長正教員司書保姆舍監及書記ノ在職年月數ハ各公立學校及圖書館ノ間ニ於テハ之ヲ通算ス
第四條 府縣立師範學校長ト爲リタルトキハ其ノ在官年月數ハ明治二十三年法律第九十一號及官吏恩給法ニ於テハ各其ノ規定スル所ニ依リ其ノ在官年數若ハ在職年數中ニ通算スヘキモノトス
第四條ノ二 學校長圖書館長正教員司書保姆舍監又ハ書記タリシ者教官其ノ他教育事務ニ從事スル文官ト爲リタルトキ若ハ教官其ノ他教育事務ニ從事スル文官タリシ者學校長圖書館長正教員司書保姆舍監又ハ書記ト爲リタルトキハ各其ノ在官在職年數ヲ通算シ明治二十三年法律第九十號及同年法律第九十一號ノ退隱料扶助料扶助金ヲ受クルコトヲ得
通算スルコトヲ得ヘキ官職ノ種類及通算ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四條ノ三 同ニシテ國庫ヨリ公立學校職員退隱料及官吏恩給又ハ軍人恩給(賑恤金、給助金)若ハ同一ノ事由ノ爲メニ公立學校職員遺族扶助料及官吏遺族扶助法又ハ軍人恩給法ニ依レル扶助料ヲ併セ受クヘキ者アルトキハ本人ノ所擇ニ任セ其ノ一ヲ給ス
第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス
附 則(四十年法律第一號附則)
本法ハ明治四十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
公立圖書館職員ノ在職年數ハ退隱料、退職給與金、扶助料及扶助金ノ支給

ニ關シテハ明治三十二年十一月以後就職ノ月ヨリ之ヲ起算ス

明治四十三年法律第三十號

巡查看守退隱料及遺族扶助料法ハ警部補及其ノ遺族ニ之ヲ準用ス
退隱料、一時金及遺族扶助料ノ關係ニ於テハ警部補又ハ巡查ノ勤績年數ハ
交互ニ之ヲ通算シ巡查警部補ニ任シ又ハ警部補巡查ニ就職スルトキハ之ヲ
勤績ト看做ス

判任以上ノ他ノ文官警部補ニ轉任スルトキハ官廳事務ノ伸縮ニ依リ退官シ
タルモノト看做ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(明治四十三年勅令第百二十四號)
(ナ以テ同年四月一日ヨリ施行)

〔政府委員横田千之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(横田千之助君) 唯今ノ、日程ニ上ボリマシタ現受恩給者ノ恩給
増額ニ關スル法律案ニ付テ、提案ノ理由ヲ説明イタシマス、本案ハ當初政府案
ト致シマシテハニツノ議案トシテ提出シテアツタノデアリマス、即チ現受恩

給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案ト云フノガーツデアリマス、今一つハ軍
人恩給等ノ増額ニ關スル法律案、此ニツノ法案ニナツテ居リマシタ、併シ此
二ツノ法律ノ精神及ビ要領ハ第一、約五割ノ恩給額ヲ增加スル、斯ウ云フコ
トガ第一ノ要點デアリマス、而シテ此恩給ノ增加ノ實施ヲ本年四月一日ヨリ
始メルト云フコトガ第二ノ要點デアリマス、第三ノ要點ハ是ハ五割ノ增加額
ヲ上ニ薄ク下ニ厚ク、官吏増俸ノ割合ニ依ツテ按分比例スル、サウシテ之ヲ
割當ツルト云フコトガ第三ノ要點ニナツテ居リマス、政府ノ原案ガ簡單ナル法
案ニ收メルコトガ出來ナイデ、幾分複雜ノ規定ノ存シタノハ此官吏増俸ノ比
例ニ依ツテ、五割ノ增加額ヲ上ニ薄ク下ニ厚ク按分比例スルト云フコトヲ、法
文ニ書キ現ハス爲ニ、幾多複雜ノ規定ヲ要シタノデアリマス、然ルニ本案衆
議院ノ議事ニ上ボリマスヤ、本會議及ビ委員會ニ於テ幾多質問討論ガアツタノ
デアリマス、其質問討論ノ要旨ハ、之ヲ要スルニ此兩案ハ共ニ新舊ノ恩給ヲ
受ケル人ニ對シテノ待遇ガ差別サレテ居ル、是ハ現在ノ受恩給者及ビ或ハ小
學校教員、巡查、看守及ビ其遺族ノ生活、在郷軍人等生活ノ實狀ニ鑑ミテ
甚ダ適當デナイ、ドウシテモ新舊ノ差別ヲ撤廢シテ、同等ニ増額シナケレバ
イカヌ、斯ウ云フコトガ非常ニ盛ニ論議サレタノデアリマス、茲ニ於テ政府

ハ幾度カ考慮ノ結果、其衆議院カラ原案ニ對スル修正案トシテ提出サレマシ
タ所ノ要點ヲ見マスルノニ、此新舊ノ差別ヲ撤廢シテ文官其外ノ官吏ガ約七
割ノ増俸、上下ヲ通ジテ約七割ノ金額ハ官吏増俸ト按分比例シテ、上ニ薄ク下
ニ厚ク、一番下ハ十割カラ始メテ段々遞減シテ行ク、斯ウ云フ意味合ノ修正

案デアリマス、即チ政府ノ原案ヨリハ受恩給者ニ對シテノ増額ガ通シテ二割
ヲ增加スルコトニナリマシタ、第二ニハ此修正案ノ要點ハ、本年四月ヨリ施
行スルト云フコトヲ本年七月ヨリ施行スルト云フコトニ致シタノデアリマ
ス、第三ニハ此按分比例ノ複雜ナル法文ノ規定ヲ省イテ、之ヲ勅令ノ規定ニ
スル、是ガ衆議院ノ修正ノ要領ニナツテ居リマス、政府ハ前段申上ゲマシタ事
情、實際、文武兩方面ヲ通ジ此受恩給者及ビ其遺族ノ生活ノ狀態、歐洲戰亂
後、數年來著大ナル經濟事情ノ變化、是等ヲ參酌イタシマシテ、此修正案ニ、
同意ヲ表シタ次第デアリマス、速ニ御協贊ヲ希望イタシマス

○西久保弘道君 質問イタシマス、宜シウゴザイマス
○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○西久保弘道君 私ハ昨年四十一議會ノ時、此恩給ノコトニ付テ質問イタシ
タノデアリマス、ソレハ四十一議會ノ時大正八年度ノ豫算ヲ議スルニ當ツテ、
政府ハ文武官ノ現職者ニ對シテ若干ノ增加ヲスルニ拘ハラズ、恩給者ニ對シ
テハ何等顧ミル所ガナカッタノデアリマス、私ハ之ヲ甚ダ遺憾ノコト、思
ウテ、義ヲ盡シ情ヲ述べテ、恩給者モ官吏同様ニ官吏ヲ五割増スナラバ五割、
同様ノ率ヲ以テ恩給者ニ增加スルト云フコトニシナケレバ筋道ガ立タヌト云
フコトヲ、再三質問シタノデアリマス、當時原首相ハ如何ニモ氣ノ毒デハアル
ガ、手ガ届カヌト云フコトヲ以テ答辯ノ要領トセラレテ、遂ニ私ノ質問ハ要領
ヲ得ルコトガ出來ナカッタ、續イテ四十二議會即チ解散ニナリマシタ四十二議
會ニ於テ、大正九年度即チ本年度ノ豫算ヲ提出セラレル時ニハ幸ニモ其恩給
者ニ平均三割ヲ増スコトニナツテ居リマシタ、此點ハ少額デハアルガ我ニノ意
見ノ少シデモ用ヒラレタト云フコトヲ私ハ非常ニ喜ビマシタガ、併シ一面、官
吏……官吏デハナイ現職者ハ七割、是ハ上ニ薄クシテ下ニ厚ク、是ハ如何ニ
モ宜イコトデアリマス、ダガ恩給者ハ三割デ現職者ハ七割ト云フコトデハ、
如何ニモソレガ面白クナイ筋途ガドウシテモ立タナイト云フコトデ、我ニハ
同志ノ者ト相談シテ、之ヲ官吏ト同様ニ同一ノ率ヲ以テ増額ヲシタイト云フ

考ヲ以テ相談ヲシテ居ツタノデアリマス、所ガ不幸ニシテ議會ハ解散ニナツタ、所ガ今度此特別議會ニハ、恩給者ハ五割、實ニ此點ハ私ハ喜ブ一步一步進ンデ來テ、私等ノ考ガ自然ニ實行サレルト云フコトハ非常ニ愉快ニ思フ、所ガ衆議院ハ之ヲ七割、現職者同様、殆ド同一ニシヤウト云フコトデアリマス、最モ我ミノ考ガ實行サレルニ近ヅイテ行クコトハ、非常ニ私ハ愉快ニ思フノセヌ、唯私ハ餘リ隴ヲ得テ蜀ヲ望ムヤウデアリマスケレドモ、百尺竿頭一步ヲ進メテ質問ヲ致シタイコトガアルノデアリマスガ、我ガ貴族院モ無論之ニ同意サレルコトダラウト思フ、此點ニ付テハ私ハ質問ヲ致シマセヌ、唯私ハ餘リ隴ヲ得テ蜀ヲ望ムヤウデアリマスケレドモ、百尺竿頭一步云フコトデアッテ、衆議院ハ、此財源ノ關係計算ヲ合セルコトガアリマセウ、七月ノ一日カラスルト云フコトデアルガ、私ハ現在恩給ヲ受ケテ居ル人ニ對シ、現職者ガ一昨年アタリカラ……チヨット何ヲ記憶イタシマセヌガ、増額ヲサレタ、現職者ガ増額ヲサレタ所ノ既往ノ日ニ遡リテ、恩給者ニモ同一ノ待遇ヲ與ヘラル、ト云フ御考ハ、當局者ハアラレヌデアリマセウカ、此點ヲ私ハ質問イタスノデアリマス、デ唯ソレバカリデハ分リマセヌカラ、少シソレニ付テノ私ノ考ヲ述ベテ見タイト思フノデアリマス、曩頃來ノ物價ノ騰貴ト云フモノハ、神武天皇以來我ミハ見タコトノ無イ暴騰デアリマス、寧ロ私ナドハ此暴騰ハ亂暴ナル暴騰ト思ウテ居ル位デアリマス、從ツテ官公吏、學校職員等、一定ノ俸給ニ衣食スル者ノ困難ハ一通リデハアリマセヌ、就中單ニ恩給ノミニ衣食シ、單ニ扶助料ノミニ衣食スル人ノ慘狀ト云フモノハ、目モ當テシテ一時獨軍ノ占有ヲ受ケタ所モ澤山アリマスガ、是等ノ地方ハ獨逸ノ兵…獨兵ノ爲ニ家ヲ燒カレ、財產ヲ奪ハレ、住ムニ家ナク、喰フニ食ナク、一家四方ニ離散スル、其甚ダシキニ至ツテハ、非戰鬪員デアル所ノ老人、女、子タル有様デアルノデアル、殆ド筆ニ書クコトモ出來ナイ、口ニ述ベルコトモ出來ナイト云フヤウナ有様ナンデアル、併ナガラ私ハ是等ノ佛蘭西、白耳義シテ一時獨軍ノ占有ヲ受ケタ所モ澤山アリマスガ、是等ノ佛蘭西、白耳義人ニ比較シテ見ルニ、私ハ甲乙ナイト云フコトヲ斷言シテ敢テ憚ラヌノデア

リマス、何ヲ以テサウ云フ風ニ言フカト云フニ、勿論此恩給ヲ受ケテ居ル人、扶助料ニ衣食スル人ハ、無論家ハ燒カレハ致シマセヌ、併ナガラ尤モ是等ノ人ミハ燒カレル實ハ家モ持タヌノデアル、燒カルベキ家モ持タナイ、多クハリマセウカ、何倍ニ當ツカ、殆ド恩給ノ額、扶助料ノ額ヲ以テシテハ、家賃ヲ佛フコトモ出來ナイ位ナ程度ニアッタノデアリマス、デ家賃ガ滞レバ追出サレル、又餘リ無謀ナコトヲ言フカラ腹ヲ立テ、出テ仕舞フ、何處ヲ探シテモ實ニ於テ家ヲ燒カレタト云ウテモ敢テ誣言デハナカラウト思ヒマス、勿論財産ハ奪ハレマセヌ、併ナガラ前ニ申ス通り恩給額ヤ扶助料ノ額ハ家賃ニモ足ノ獨兵ノ爲ニ家ヲ荒サレタ所ノ住民ト何ガ違ヒマス、是ハ事リナイ、カルガ故ニ少シバカリ有ツテ居ル財產、其ノ財產ハ質屋ノ倉ニ賴ムノハマダ是ハ上等デアリマス、或ハ古著屋、古道具屋、其甚シキニ至ツテハ、屑屋ノ手ニ渡ラザルモノハ無イト云フ有様デアリマス、是モ財產ヲ奪ハル、ト、ドコガ達ヒマセウ、一ツモ違ツタコトハナイト思フノデアリマス、デニ同情ヲセズニ居ラレマセウカ、私ハ是等ノ人ミニ對シ多大ノ同情ヲ表ハシテ居ルノデアリマス、當局者モ必ズ之ニハ同情ヲ表セラル、コト、私ハ信ズルノデアリマス、政府ハ「チエック、スロヴアック」ヲ救助スル爲ニ、西比利亞ニ出兵ヲサレタ、數億ノ國費ヲ使ハレタ、數千ノ將卒ヲ殺シテ居ラル、「チエック」果シテ何者ゾ、アカノ他人デハナイカ、アカノ他人モ人道ノ爲ナラバ已ムヲ得マセヌ、併ナガラ此アカノ他人ノ「チエック」ヲ救助スル爲ニ、澤山ノ金モ使シテ、妙カラザル、陛下ノ股肱ヲ犠牲ニ供シテ居ル、サウシテ内輪ノ者ハ餓死テ、或ハ傷ツキ或ハ病ミ、漸ク一命ヲ完ウシテ居ルノデアリマス、又彼ノ扶助料ヲ…軍人ノ遺族デ扶助料ヲ貰ッテ居ルノデスガ、是等ノ戦役ニ國家ノ爲ニ生命ヲ鴻毛ノ輕キニ比シテ、戰場ニ骸ヲ曝シタモノ、遺レテモ抛ツテ置ク、内輪モ唯ノ内輪デハナイ、國家ノ勤勞アル者、並ニ其ノ遺族、殊ニ彼ノ軍人ノ如キハ日清、日露、其他ノ戰役ニ千軍萬馬ノ間ニ往來シテ、或ハ傷ツキ或ハ病ミ、漸ク一命ヲ完ウシテ居ルノデアリマス、又彼ノ扶助料ヲ…軍人ノ遺族デ扶助料ヲ貰ッテ居ルノデスガ、是等ノ戦役ニ國家ノ爲ニ生命ヲ鴻毛ノ輕キニ比シテ、戰場ニ骸ヲ曝シタモノ、遺族ナシテアリマス、アカノ他人ノ「チエック」ノ爲ニ是ダケノ人ヲ殺シ、金ヲ使ヒナガラ、國家ニ功勞ノアル是等ノ人ミヲ見殺シニスルト云フコトハ何タリ方デハ免レルコトハ出來ナイダラウト思フ、ヨクアリマスデスナ、交際

ダ交際ト云ウテ金ヲ湯水ノ如ク使ツテ、サウシテ自分ノ妻子ヲ飢エラカシテ居ル、サウ云フ人ガ世間ニ往タル、是ハ非常識ノ人デス、馬鹿者デス、自分ノ妻子ヲ飢エラカシテ交際交際ト云ツテドンヽ金ヲ湯水ノヤウニ使フ、政府ノ今迄ナサレタコトハ、或ハ是ト同ジト言ハレテモ辯解ノ途ハナイノデハアルマイカト私ハ思フ、大變攻撃的ニナツテ來マシタガサウ云フ譯デハナイ、事情ヲ盡ス爲ニ申上ダタノデアリマスガ、所ガ幸ニシテ聰明ナル原首相ハ、曩ニハ極冷淡デアリマシタガ、能ク人ノ言フコトヲ聞イテ、一番初メニハ「ゼロ」デアッタノガ三割ニナリ、五割ニナリ、七割ニナリ、隨分近ヅイテ來タ、ダカラ百尺竿頭ニ一步ヲ進メマシテドウデアル、既往ニ遡ツテヤラレタナラバドウデアラウカ、併シ是ハデス、私ナドハ恩給ヲ貰ツテ居ル一人デアルガ、私自分が慾張ツテ言フノデハナイ、世間多クノ者ノ爲ニ言フノデアル、是ハモウ過去ツテ居リマス、過去ツテ居リマスガ私ニ言ハセルト政府ニ過失ガアルト思フ、尼港事件ニ付テハ過失ガナイトカ、或ハ不可抗力トカ云ウテゴマカスコトガ出來ルカモ知レナイガ、是ハゴマカスコトハ出來ヌ過失ガアル、手ガ届カヌト云ウテ、今日ハ衆議院ノ七割ニ同意サレタ、私ガ四十一議會ニ言ウタノニ、氣ノ毒ニ思フ、同情スルガ手ガ届カヌ、併ナガラ今日ハソレニ手ガ届ク、四十一議會ト私ハ同ジコト、思フ、寧ロ今日ハサウ云フ金ヲ出スノニハ都合ノ惡イ、寧ロ手ノ届カヌ時デハナイカ、ソレデモヤラウト思ヘバヤレル、ダカラ是ハ不可抗力トカ、過失ガナイトカ云フコトハ言ヘヌト思フ、少シ政府ニ過失ガアルヤウニ思フ、デアリマスルガデス、モウ既ニ過去ツタコトデ、誰ガ惡イ彼ガ惡イ、何事モ私ハ申サヌ、過去ツタコトデアルガ、是ハ極制限シテ宜カラウト思フ、マア第一ニ勅任官以上ノ人デ恩給ヲ貰ツテ居ル人ハ、サウ云フ既往ニ遡ルト云フヤウナコトハヤラヌデ宜カラウ、勅任官ヲ辱ナウシタ者ハ飢エ死ンデモサウ云フコトハ言ヘマイト思フ、制限ガアッテ宜カラウト思フ、親任官、勅任官デ居タ人ハ其恩澤ヲ施サヌデモ宜カラウ、ソレカラ第ニハ貴衆兩院デ、貴族院デ歲費ヲ貰、テ居ル人、衆議院デ歲費ヲ貰ツテ居ル、是等ノ人ハ勅任官デナクテモ、奏任官デアラウト判任官デアラウトモ、是等ノ人ハ例外ニ置イテ宜カラウト思フ、ソレカラ又第三ハ、政府ニ關係ノアル銀行トカ、政府ノ補助ヲ貰ツテ居ル、關係ノアル銀行トカ、政府ノ補助ヲ貰ツテ居ル會社、ソレノ重役ヲシテ居ルト云フヤウナ人ハ例外ニ一ツ置イテ宜シイ、第四ニ直接國稅三百圓トカ四百圓トカ、相當飯ヲ食ヘルダケノ見込ノ付ク者、サウ云

フ者ハ例外ニ置イテ、是程マデニ政府モ折レテ來ラレタ以上ハ、眞ニ前ニ申シマシタ通リニ私ハ恩給者……恩給ヲ受ケテ居ル者、扶助料ヲ貰ツテ居ル人ノ悲慘ナ狀況ハ實ニヒトイモノデス、曩ニ政府ハ麥飯獎勵法、薩摩芋馬鈴薯ヲ勸メラレテ居ル、併ナガラデス、一體恩給ニ衣食シ、扶助料ニ衣食スル人ハ麥飯ナドハ是ハ當リ前デ寧ロ政府當局者ヨリモ一日ノ長ノアルコトデ、御師匠サンデアルト思フ、其講釋ヲシテモ何ヲ言ツテ居ルカト云フコトデ、是等ノ人ハ笑ツテ居ルダラウト思フ、實ハ麥飯モ食ヘナイデス、馬鈴薯、薩摩芋モ充分ニ買フコトガ出來ナイ、實ニ悲慘ナ狀況ナンデス、政府當局ニナルト、サウ云フ所ヘドウモ眼ガ届カヌヤウデス、デ私ハ眞ニ同情ヲ表シテ居ルガ、前ノ佛蘭西ヤ白耳義ノ獨立ノ爲ニ、慘虐ニ遭ウタ者ト、比較シテ、事實ニ付テ調ベタナラバチヨットモ甲乙ハナイ、寧ロ是等ノ人ノ中ニハイソン銃劍デ突カレ、鐵砲デ射ラレル方ガ却ツテアノ世ヘ行ツテ、極樂淨土ヘ行ク方ガ増シダト云フ考ヲ起シタ人モ、中ニハ無イデハアルマイト思フ、此點デス、十分一ツ御斟酌下サレテ、私ノ今申シタコトハ此案トハ別ニシテ、直グ今御返事ヲ願ヒハ致シマセヌガ、今日ハ總理大臣、大藏大臣モ見エマセヌカラ、是ハモソンナコトハ話ニナラヌト云フ御考デアリマセウカ、一ツ政府委員ノ御答辯デ宜シウゴザイマスカラ、承ハツテ置キタイ

〔政府委員横田千之助君演壇ニ登ル〕

○政府委員(横田千之助君) 西久保君ノ御質問ノ要所ニ向ツテ御答ヲ致シマス、西久保君ノ御質問ノ要旨ハ、此七月ヨリ實施スルト云フ本案ヲ、三箇月溯ツテ四月ヨリ實施スルコトガ出來ヌカト云フ御尋ト了解シテ居リマス……

〔此時西久保弘道君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 西久保弘道君ハ……

○西久保弘道君 チヨツト間違ツテ居リマスカラ……

○議長(公爵德川家達君) 西久保君

○西久保弘道君 サウヂヤナイ、其四月ト云フコトニ付テハデス、今日大急政府ノ補助ヲ貰ツテ居ル、關係ノアル銀行トカ、政府ノ補助ヲ貰ツテ居ル會社、此案ニ付テ言フノデハナイ私ノ言フノハ現職者ガ增額ヲサレタ、二年前三年前、ソレニ遡ツテ手續ハドウ云フ風ニ……色マアリマセウガ、詰リ私ハ恩給ヲ

貴フモノハ、現職者同様ニ取扱ハネバ筋道ガ立タヌト云フ一點張リノ議論ヲスル者デアルカラ、二年前三年前ニ遡ツテ、ソレヲ前ニ申シタ通リ制限ヲ附ケテモ宜イガ、特別ノ恩典ヲ以テヤッテ戴キタイ、二年前ニモ三年前ニモナルコトダラウト思ヒマス

○政府委員(横田千之助君) ヨク分リマシタ、政府ニ於キマシテハ、從來ノ各般ノ給與制度、無論恩給扶助料モ之ニ包括サレテ居リマス、是等ニ付テ此經濟事情ノ長イ間變化、今力説セラレタ通り、此數年ハ多大ナ變化、之ニ對應スベキ根本的革新ノ手ハ既ニ染メツ、アルノデアル、併シ此成案ハ必ズ次

ノ議會ニ提案スルカドウカハ明言ハ出來ヌガ、此必要ハ政府ハ非常ニ感ジテ居ル、併シ現在官吏ニナッテ居ル人々ガ臨時手當ガ二年前カラ增加シタカラト申シテ、現受恩給者ニ遡ツテ之ヲ均霑セシムルト云フ議ハ更ニナイ、又處理上其コトハ困難ト考ヘマス、西久保君ガ現受恩給者、其遺族ノ生活ノ慘澹タル事情ヲ長ク御説明ニナリマシタガ、是ト同一ノ説ヲ衆議院ニ於テモ屢々承ハリマシタ、西久保君ノ御話ニ於テモ、此數額ニ於テハ西久保君ノ豫期セラレタ以上ニ、政府ガ勉強ヲシテ此修正ニ同意ヲシタ所以ハ茲ニアル、ケレドモ

之ヲ、此何ヲ遡及シテ現在ノ、已ニ現ニ職務ヲ執ツテ居ル官公吏ト同一ノ待遇ヲスル、斯ウ云フ事柄ノ計畫ハ現在政府ニ於テハアリマセヌ、唯繰返ヘシテ申上げマスガ、此全體ノ給與制度ニ於テハ、是ハ財務當局ト財源トノ關係等ヲ考慮シ、根本的ノ非常ナ變革ヲシナケレバイカナイ時機ガ到著シタト云フコトハ政府ハ考ヘテ、之ニ付テハ出來ルダケノ早ク何等カノ施設ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○西久保弘道君 政府當局ノ御答ガアリマシタ、私申シテ置キタイコトハ、今申サレタ根本的ニ恩給法ノ改正ニ付テハ考ヘテ居ル、是ハ是非サウ願ハナケレバナラヌノデ、實ハ我國ノ恩給ト云フモノハ諸外國ニ對シテ實ニ少イタデ、最低額ハ諸外國モ同ジャウデアリマスガ、最高額ニ至ルト多クノ所ハ四分ノ三マデ行ク、俸給全額ノ四分ノ三或所ハ俸給ノ全額、多クノ所ガ四分ノ三、多イ所ハ全額ト云フヤウナ所モアル、日本ハナカナカソレニ及バヌ、ソレカラ扶助料ガ三分ノ一デアリマスガ、是ハ多クノ所ガ三分ノ一、今マデハ三分ノ一デアリマスガ、中ニハ扶助料ハ恩給額ノ二分ノ一ニナッテ居ル所モアリマス、此點ハ十分一ツ……ソレカラ先刻私ノ御尋ニ對シテ、是レダケ思ヒ切ツテヤッタノデアルカラ、ドウモ是レ以上ハイカヌト云フコトデアリマス

ガ是ハ今政府委員ノ答辯ハサウデアリマセウガ、一ツ今日ハ總理大臣モ大藏大臣モ其他ノ大臣モ多クハ御出デニナラヌ、能ク篤ト御相談ヲ願ヒタイ、四十一年議會ノ時ニ手ハ届カヌトテ今日手ガ届ク譯ガナイ、ダカラ是モ亦能ク御考ヘニナルト矢張リ手ノ届クヤウニナル、手續ハ遡ルノハイカヌト云フコトデアル、又手續ハドウデモソレハ法制局長官ノ名案ガ幾ラモアリマセウ、手續ハ幾ラモアル、既往ニ遡ツテヤレナイト云フコトハナイ、法律ヲ拵ヘテヤレナイコトハナイ、前ニ申シマシタ四十一議會ニ……

○議長(公爵德川家達君) 西久保君ニ申上グタイト思ヒマスガ、質疑ヲ繼續セラレルト思ヒマシテ、發言ヲ許シタノデアリマスガ、御意見デハ第一讀會ノ續キニ委員長ノ報告ノアツタ後、テ願フノガ、最モ適當ナ時機ト思ヒマス

○西久保弘道君 イヤ、モウアリマセヌガ、別段意見デモナイノデアリマスガ、質問ノ前ソレヲ併セテ質問ガ完璧ニナルノデアリマスカラ、少シバカリ御許シラ願ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 御意見デアレバ特別委員長ノ報告ノ後デ、願ヒタク考ヘマス

○西久保弘道君 イヤ意見デアリマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 併シ唯今御述ベノコトデハ、議長ハ御意見ト考ヘル外ナイノデアリマス

○西久保弘道君 私ハ此政府、總理大臣、大藏大臣ニ御相談ヲシテ、私ノ今茲ニ總理大臣、大藏大臣ガ見エテ居リマセヌノデスカラ、政府委員一個ノ考デサウ云フコトハ出來マイト云フコトナンデスカラ、一ツ御相談ヲ願ヒタイ、所謂質問ニ對スル、ソレガ質問ヲ完備スル爲ニ斯ウ云フコトガ出テ來ルノデ、中途半端ニナッテモ變デアル、始アリ終アルト云フコトニナラナケレバ、要領ヲ得ナイト思ヒマス……併シモウソレダケデ宜シウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス〔成瀬書記官朗讀〕

現受恩給者ノ恩給等ノ増額ニ關スル法律案特別委員

伯爵廣澤金次郎君 男爵小澤武雄君 子爵樋口誠康君

小牧昌業君 男爵宇佐川一正君 男爵西紳六郎君

澤柳政太郎君 福永吉之助君 三木與吉郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、南満洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關ス
ル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

丁巳九月二十一日

衆議院議長奥繁三郎

貴族院議長公爵德川家達屬

南滿洲鐵道株式會社ハ株式引受ニ關スル法律案

前項ノ規定ニ依リ株式ヲ引受ケタルトキハ政府ハ其ノ引受ノ日ニ於テ南滿洲鐵道株式會社ノ發行ニ係ル英貨社債額面一千二百萬磅ノ元利支拂義務ヲ承繼ス此ノ場合ニ於テハ政府ノ引受ケタル株式ニ付株金一億一千七百十五萬六千圓ノ拂込アリタルモノト看做ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 本案ハ南滿洲鐵道株式會社ノ增資ニ伴ヒマシテ、其増資ノ半額ヲ政府ニ於テ引受ケル點ノ法律案デゴザイマス、從來南滿洲鐵道株式會社ニ於キマシテハ、政府民間共同出資合計二億圓ヲ以テ經營シ來ツタノデアル、此度事業ノ發展ト共ニ資本ノ不足ヲ感ジタノデ、二億四千万圓ノ増資ヲ致シタノデ、政府モ亦其必要ヲ認メテ許シタノデ、當時政府ハ二億キマシテハ、豫テ鐵道會社ガ英國ヨリ借受テ居ツタ一千二百万磅ノ外債ガアリマス、其外債ヲ政府ニ於テ肩替リマシテ、サウシテ一千二百万磅ノ肩替リ分ヲ引受ケテ、此會社ノ出資ノ半額ニ提供シャウ、斯ウ云フ次第デアル、但シ英國貨幣ハ之ヲ純金塊ニ計算シマスルト、多少ノ差額ガアリマス一千二百万磅ハ今日ノ日本ノ金貨ニ見積リマスト一億四千九百十五万六千トナリマス、之ヲ一億二千万圓ニ比較シマスト云フト、二千八百四十万何千圓ト云フ差額ガ生ズル、併シ政府ハ其差額ヲモ之ヲ合セマシテ、合計一億二千万圓トシテ

此出資ニ投ジヤウ、斯ウ云フ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊アラム
コトヲ希望シマス

○中村是公君 私ハ本案提出ノ理由ニ付キマシテ、理解ノ出來ナイ點ガ三點
程アリマス、之ニ付テ政府ノ御所見ヲ承ハリタイノデアリマス、唯今政府委
員ノ御答辯ニ依リマスト云フト、二億四千万ノ増資ヲシタ、其中半額ヲ政府
ガ引受ケルコトニナツテ居ル、故ニ此一億二千万ト云フモノヲ將來支拂フベキ
英國ノ社債ヲ政府ガ肩替リヲシテ拂込ミニ充テルンダ、言葉ヲ換ヘテ申シマ
スト云フト、現金ヲ出サズニ株主ニナル、斯ウ云フ結果ニナルノデス、他日
ハ御支拂ニナルデセウガ、唯今ハ現金ハ出サナイノデアリマス、結果ニ付テ
申スト斯ウ云フ譯ノ御案デアル、カルガ故ニ私ハ御尋ネラ致シタイノデアル、
第一ニ御尋ネラ致シタイノハ、本案ハ外國ニ效力ヲ及ボサナケレバ目的ヲ達
シナイノデアル、即チ滿鐵會社ノ社債ノ權利者タル者ハ何人デアラウカ、英
國ニ居ル人デアル、日本人デハナイノデアリマス、外國ノ臣民ガ權利者デア
ル、此權利者ニ對シテ内國法ヲ以テ肩替リガ出來ルカ、言葉ヲ換ヘテ申セバ
内國法ヲ以テ外國ニ效力ヲ及ボスコトガ出來ルカ、出來ナイカ、私ハ出來ナ
イモノデアラウト信ズルノデアリマス、是ガ本案ニ對スル法律上ノ根本ノ疑
義デアリマス、第一ニ之ヲ伺ヒタイノデアル、第二ニ御伺ヒ致シタイノハ、
滿鐵ノ定款ヲ見マスルト云フト、一億二千万圓ハ政府ハ之ヲ引受ケルノ權利
ヲ留保スルト書イテアルト思フノデアリマス、即チ或ハ言葉ニ違ヒガアルカ
モ知レマセヌガ、意味ヲ申上ゲルト一億二千万ノ株ハ政府ガ引受ケルコトガ
出來ルヤウニ書イテアル、此定款ヲ精シク玩味シマスト云フト、現金デ拂込
ムト云フ規定デアル、何故ナラバ増資ヲ致ス場合ニ於キマシテハ現金以外ノ
モノヲ以テ出資スル時ニハ、其出資ノ方法ヲ明記シテ置カナケレバナラヌ
ノデアル、是ハ商法ノ明文ニ依ツテサウナクチャナラヌノデアル、カルガ故ニ
定款ヲ改正シ、政府ガ之ヲ認可スル場合ニ於キマシテハ現金ヲ以テ
將來支拂フ、現金デ拂込ム、斯ウ云フコトガ定款ノ上ニ於テ明瞭デアル、然
ルニ此法案ヲ見マスルト云フト、英國ノ滿鐵會社ノ社債ヲ以テ拂込ニ充テル

コトガ出來ルンダ、斯ウ云フノデアル、是ハ政府ガ當初定款ヲ認可スル時ノ意思ト非常ニ差ガアリマス、又政府ハ現在ニ於テモ満鐵ノ大株主デアル、半數ノ株ヲ所有シテ居ルノデアル、其株主ハ増資ヲ決議スル時ニ満鐵ノ總會ニハ臨席シテ株主權ヲ執行シテ居ル、此株主ガ……政府タル株主ガ、總會ニ於テモ亦現金拂込ノ意思ヲ明カニシテ居ルト言ハナケレバナラヌ、若シ現金デ拂込マヌト云フ考ガ其當時アッタノデアルナラバ、何故ニ其當時ニ拂込ミ方法ヲ商法ニ從ツテ明記シテ置カナカッタカ、明記ノナイ限りハ是ハ必ズ總會ノ決議ヲ爲シ、又定款ヲ認可スル場合ニハ、現金ヲ拂込ミヲ爲スベキモノノデアルト云フコトハ、唯今ヨリ推測シテ誤マラヌ所デアル、然ルヲ今俄ニ志ヲ繙シテ、社債ヲ以テ而カモ將來何年先カ分ラナイ先キニ支拂フモノヲ以テ、拂込ミニ充テムトセラレルノデアリマスルガ、此意思ノ變更ハ如何ナル理由ニ基クカ、如何ナル必要ガアッテ社債ヲ以テ拂込ミニ充テナケレバナラヌノデアルカ、私ハ社債ヲ以テ拂込ミニ充テルト云フ必要ヲ理解スルコトガ出來ナイ、即チ社債ヲ以テ拂込ミニ充テルト云フ必要ヲ伺フノデアリマス、是ガ第二ニ問ハムトスル所ノモノデアル、又増資ヲ致シマス際ノ計畫ニ依リマスルト云フト、一億四千万ヲ増サナケレバ將來ノ事業ニ差支ヘル、斯ウ云フコトガ總會ノ決議デアル、事業目論見書モサウナッテ居ル、現金ガ將來二億四千万圓要ルガ故ニ増資ヲシタノデアル、是ハ明瞭ナコトデアラウト思ヒマス、然ルニ唯政府モ二億四千万ヲ増資ニ對シテ認可ヲ與ヘテ置イテ現金ガ半分ナクテモアルシテ、斯ウ云フコトハ如何ナル譯デアリマスカ、事業ヲ縮ムルノカ、縮ムルノナラバ資本ノ減額ヲシテ宜シカラウト思フノデアル、資本ノ減額モナサレズシテ、増資ハ其儘二億四千万圓トシテ置イテ、現金ヲ入レズニ株主ニナルシイ、斯ウ云フコトハ如何ナル意味デアルカ、事業ヲ縮ムルノカ、縮ムルノナラバ資本ノ減額ヲシテ宜シカラウト思フノデアル、資本ノ減額モナサレズシテ、増資ハ其儘二億四千万圓トシテ置イテ、現金ヲ入レズニ株主ニナルト云フコトハ、事業計畫ニ對シ如何ナル意味デアルカ、此點ニ付キマシテモ私ハ了解出來ナイノデアル、次ニ社債ヲ引受ケルト云フコトハ何タル意味デアルカ、私ハ社債ヲ引受ケルト云フコトノ必要ガ更ニ分ラヌ、天下廣シト

〔副議長候爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

雖モ斯ウ云フモノヲ以テ拂込ニ充テタ會社ハ、古今東西ヲ通ジテ曾テ無イ例デアル、今此ニ現政府ガ試ミムトスルヲ以テ噶矢トスルノデアル、何ノ必要ガアルカ、錢ヲ出サズニ株主ニナラウ、斯ウ云フノデアリマス、斯ウ云フ必

要ハ何ノ必要ガアルカ、私ニハ社債ヲ引受クル……言葉ヲ換ヘテ言ヘバ錢ヲ出サズニ株主ニナルト云フコトノ必要ガ分ラナイ、ドコカラサウ云フ風ナ打算ガ出ルノダ、少シモ知ラヌノデアル之ニ付テハ少シ私ハ説明ヲ申上ゲヌト、私ノ趣旨ガ通り兼ヌルト思ヒマスカラ甚ダ恐縮デアリマスガ、暫ク其趣旨ノ説明ヲ御許シヲ願ヒタイ、何故ト申シマスルノニ、一般株主ハ現金デ拂込ム、二億四千万圓ノ半額一億二千万圓ニ對シテハ、此經濟界ノ困難ノ中ニズンズン拂込ヲ命ゼラレテ居ル、高イ利息ヲ拂ツテ借金ヲシテ而シテ株金ノ拂込ヲ爲シツ、アル、而シテ政府ハ一文モ出サズニ株主ニナラウト斯ウ云フノデアル、其差ノ甚シキコト實ニ大ナルモノノデアル、又滿洲經營ノ上カラ考ヘマシテモ、政府タルベキモノハ滿洲經營ノ大任ヲ肩負ツテ居ルノデアル、是ハ深ク申上ゲル迄モナク、滿鐵會社ノ創設ノ御趣意ニ鑑ミラレテ明カデアラウ、又滿鐵會社ニ對シテ政府ガ常ニ過半數、否半數ノ大株主トナラムトスルノ趣意モ蓋シ此ニアル、詰リ一億四千万ノ半額ヲ持ツテ行カウト云フコトハ……即チ大株主トナラウ、此意味ハ如何ナル意味デアルカ、滿洲ノ經營ニ對シテ政府ガ非常ナル責任ヲ感スルカラデアル、自ラ奮ツテ滿洲ノ經營ノ任ニ當ラムトスル志ガ此ニ現ハレテ居ルノデアル、然ルニモ拘ハラズ、一文モ出サナイデ、民間ヨリシテノミ此經濟界ニ於テ強ヒテ募集ヲセムトスルハ、政府タルベキモノノ公明ナル行政デアリヤ否ヤ、私ハ非常ニ不公平デアル、非理非道ナルコトデアルト申シテ憚カラヌノデアル、況シヤ滿鐵ノ事業ナルモノヲ分析シテ見マスルト、非營利事業ガ多々アル、國家自ラ之ヲ行ウテ當然ナルモノガアルノデアル、利ヲ生マヌモノガ澤山アルノデアリマス、是ハ此ニ一々詳説スルノ必要ガナイ、是ハ天下周知ノ事柄デアル、此利ヲ生マナナイ事柄ニ對シテモ、民間ノ資本ヲ以テノミヤラムトスル計畫デアル、政府ハ株主デアルト云フ名ヲノミ列ネル、サウシテ其實ハ民間ノ資本ヲ以テ此非營利事業マデモ營マムトスルノデアル、之ヲシモ不當デナイト云フコトガ申サレマスルカ、天下是以上ナル不當ナコトハ私ハナイト思フ、人ノ金デ仕事ヲシテ居ル、自分ハ金ヲ出サズニ株主ニナラウ、是ガ不都合デナイデ、何ノ不都合ガ世ノ中ニアリマスカ、又實際ニ付イテ考ヘテ見テモサウデアル、現在ノ株主ハ此苦シイ中カライデ株主ニナッテ、總會ヘ行ツテ株主權ヲ執行スルノデアル、現金ヲ出シタ株主ト、現金ヲ出サナイ株主トガ同ジ權利ヲ執行スルコトニナルノデアリマス、

結果ニ於テ是ハ甚シキ權衡ノ差ガアル、之ヲ非理非道デナイト申サレマスルカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、政府ハ法律ノ力ヲ以テ非理非道ヲ取テセムトスルモノデアル、強ヒムトスルモノデアル、從來幾多ノ法案モアリマセウケレドモ、斯ノ如キ道理ニ外レタモノハ無イ、又政府トシテ爲スベカラザルコトデアラウト思フ、苟モ一國ノ政治トシテ人民ト甚ダ差異ノアル、人民ノ金ヲ借りテ自分ノ爲スベキコトヲヤラムトスルガ如キ、非道ノ政事ヲ、法律ヲ以テ強ヒムトスルモノデアリマス、私ハ必要ヲ認メザルノミナラズ、實ニ甚シイ惡結果ヲ將來社會ニ貽ス是ハ一ノ例トナルモノデアル、今日風教上ニ於テ非常ニ諸公ノ憂慮セラルル今日ニ方リマシテ、此ノ如キ法案ガ提出セラルルト云フコトハ、洵ニ私ハ驚クノ外ハナイ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、四月ノ總會ノ時ニ於テ、又定款ヲ認可スルトキニ於テ、現金デ拂込ムト云フコトハ天下ニ告白シテ置イテ、今何デアル、錢ヲ拂ハズニ株主トナル、斯ウ云フ法案ヲ出スノデアル、天下ヲ僞タモノデアリマセヌカ、又其結果ハ如何デアルカ、唯今モ申上グルヤウニ、錢ヲ出サズニ滿洲ノ經營ノ任ニ當ラムトスルモノデアル、又錢ヲ出サズニ錢ヲ出シタ株主ト同一ノ權利ヲ總會ニ於テ行ハムトスルモノデアル、此ノ如キコトヲシテ一國ノ政治ヲ舉ゲムトスルニ至ッテハ、驚クノ外ハナイノデアル、此法案ニシテ通過スレバ、實ニ全世界ノ嗤ヒモノタルコトヲ免レヌト私ハ此ニ言明致スノデアル、ドウカ右諸點ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ煩スノデアリマス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 唯今中村是公君ヨリノ御質問デゴザイマス、一言御答ヲ致シマス、第一ノ權利者ノ承諾ナクシテ肩替リヲスルト云フコトハ惡イコトデアル、一應御尤モナ御質問デゴザイマス、併ナガラ今日政府ノ本案ヲ提出スルニ至リマシタノハ、畢竟日本法律ノ支配ノ下ニ立ツ満鐵會社ノ關係デアリマス、デ此度ハ會社所在地ノ法律ヲ以テ總テヲ規定シマシタノデ、日本ノ法律ニヨリマスルト云フト、權利者ノ債權ノ債務ノ肩替リニ付キマシテハ債權者ノ承諾ヲ要シマセヌ、此事ニ付テハ法律上毛頭差支ナイト存ズルノデアリマス、ソレカラ第二ニ現金拂ノ、株式ニ應ズルニ付テハ現金拂ヲシナケレバナラヌノデアル、商法ニ明記スル所デアル、御尤ナ御質問デゴザイマス、此故ニ、此處ニ政府ハ其商法ニ據ラザル規則ヲ出シテ現金支拂ニ代ヘヤ、現金支拂ト看做スト云フ法律ヲ造ツタ次第デアリマス、此法律ノ良シ惡シ

ト云フノハ是ハ銘々ノ御意見デアリマスカラ、果シテ商法ノ規定ニ據ラズシテ今度ノ如キ法律ヲ出シタノガ惡イト云フ御意見デアレバ、致方ガアリマセヌ、別ニ其以上ニ御答スル必要ハゴザイマセヌ、ソレカラ第三點ニ付キマシテハ少々御質問ノ要領ヲ得カネマシタガ、要スルニ質問ノ御趣旨ハ政府ニ於テ現金ヲ支拂ハズシテ法律ニ依ツテ以テ現金支拂ヲシタモノトナシテ、滿鐵ノ居リマス、サウスルト滿鐵會社ハ是マデ一千二百万磅ノ社債ヲ肩ニ脊負ウテソレガ爲ニ多少困難ヲ感じテ居ツタノデアリマスカ、其困難ガスッカリ拔ケテ仕舞ツタノデアリマス、ソレガ爲ニ滿鐵會社ハ是レ以上ニ社債發行ノ權利ハ無クナツテ仕舞ツテ居ツタ、今政府ガ此一億二千万磅ヲ肩替リシタニ從ツテ、滿鐵ハソレダケ社債發行ノ能力ヲ有スルノデアリマス、滿鐵ニ於テハ非常ナル金融上便利ヲ得タラウト思フノデアリマス、滿鐵ガ果シテ一億二千万圓ノ社債ヲ發行ガ出來ルヤウニナレバ、現金ヲ支拂ツタト少シモ變ツテ居リマセヌ、其原因ハ何處ニアルカト云フト、政府ガ一億二千万圓ヲ引受ケタト云フコトニ歸著スル、政府ノ肩替リハ現金ヲ拂ツタト違ハナイト信ジマス、御諒承ヲ願ヒタイ

○中村是公君

唯今ノ第一ハ法律上ノ見解デ差支ナイト仰シヤッタノデアリ

マスガ、此點ニ付テハ私ハマダ能ク御説明ガ分ラナイカラ更ニ御説明ヲ煩ハシタイ、ソレカラ第二ニ定款ヲ是デ以テ變更スルノデアルカラ、變更スルノガ良イ惡イト云フ實質ハ別ダケレドモ、法律ト是ガ取レバ差支ナイ、ソレハ固ヨリノコトデアル、ソレヲ聽クノデハアリマセヌ、私ノ聽カムトスル所ハ總會ニ政府ハ出席シタ、定款ヲ認可シタ、其時ノ規定ニ依レバ現金デ支拂フ日斯ウ云フコトヲスル御考ガアッタナラバ、何故ニ總會ニ出シタ時ニ、政府ハ現金ヲ出ス考ハナイ、株デ拂ヒハシナイ、社債デ拂フト何故申シテ置カナイ、又定款ヲ認可スル時ニ何故ニ其意思ヲ表白シテ置カナイカ、天下ニ今公ニナツテ居ルモノハ何ガ公ニナツテ居ル、現金デ拂込ムト云フコトノミガ公ニナツテ居ル、天下衆人皆現金デ拂込ムモノト信ジテ居ル、又其意思デアッタト言ハネ

バナラヌ、然ルニ何ノ必要ガアッテ今日肩替ヲ拂込ト看做スカ、此案ニモ社債ヲ引受ケテ拂込ト看做スト云フ假定デス、現金ガ無イカラ看做スヨリ外ハナイ、看做シテ株式ニナルト云フ外ハナイ、私ノ當初ノ考ト、今日ノ法律案ヲ提出シタ其考ノ變化ハドウ云フ譯デ變化シタノダ、斯ウ聽クノデス、又事業ノ計畫カラ云ッテモ、二億四千万圓ノ現金ガ要ルヤウナ計畫ニナッテ居ル、然ルニ肩替ヲスレバ一億二千万圓ハ現金デ這入ラナイ、是デドウシテ事業ノ計畫ヲ進メルコトガ出來ルノデアルカ、之ヲ其次ニ承ハッタノデアルガ、私ノ問題シテ少シモ御答ニナラヌ、此法律ヲ出セバ事ノ善惡ハ別トシテ定款ハ自ラ變更ニナルト云フコトハ當リ前ノ話デス、ソンナ事ヲ政府委員カラ答辯ヲ聽ク必要ハナイ、疾ニ承知シテ居ル、何故ニ斯ウ云フ法律ヲ出シテ定款ヲ變更セムトスルノカ、此理由ヲ承ハル、又二億四千万圓ノ金ガ出來テ居ル、此法案ガ無クトモ社債ノ募集ハ出來ルノデアル、現ニ總會モ通過シテ、現ニ尙貴族院ニモ一億圓ニ對シテノ政府ノ社債元利保證ノ案ガ出テ居ル位デアル、此極メルヤウニ言フガサウデナイ、満鐵ニ非常ニ利益ヲ與ヘル、社債ガ是デ出來ル、斯ウ仰シヤル、大間違ヒ、社債募集ノ問題ハ既ニ總會デ決議ヲシテ、一億圓社債募集ノ計畫ハ事業ニ要ルト云ッテ増資ヲシタノニ、一億二千万圓ハ現金ヲ拂ハナイデドウシテ事業ガ出來ルカ、之ヲ承ハル、又横暴ヲ……錢ヲ拂ハナイデ大株主ニナツテ權利ヲ實行シテ横暴ヲ法案ナクトモアノ社債ノ保證ヲシテ行キサヘスレバ、満鐵ハ社債ノ募集ニ何等差支ナイ、此法律ト何等ノ關係ガナイ、事實ガ證明シテ居ル、現ニ出テ居リマスソレハ……此法律ニ依ツテ會社ガ何ヲ利益スル、何ノ利益ガアル、社債ハ既ニ此法律ニ依ラズシテ出來得ル以上ハ、此法律ノ必要ハ何處デアル、唯此法律ニ殘ル所ハ一般ノ株主ト非常ニ權衡ヲ失スル、又政府トシテ自分ノ爲スベキコトヲ他ノ力ニ依ツテヤルト云フコト、殘ル所ノモノハ是等不當ノ事柄ガ殘ルノミデアル、満鐵會社ニ對シテ何等ノ必要ヲ認メヌノデ更ニ御説明ヲ煩ハシマス

〔此時男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 阪谷男爵ハ……

○男爵阪谷芳郎君 議事ノ進行ニ付テ……重要ナ法案デアリマスガ、一人モ大臣ガ御出席ニナラヌ、御出席ヲ求メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 其事ハ承知イタシマシタ、早速大臣へ出席ニナルヤウニ申込ミマス

○政府委員馬場鎌一君 惟今ノ中村サンノ御質問ノ中デ、法律ノ點ニ付キマシテハ私ヨリ一應辯明ヲ申上ゲテ置キマス、中村サンノ御疑問ハ法律ヲ提出シテモ外國ニ於ケル債權者ヲ拘束シ得ルヤ否ヤ、外國ニ於ケル債權者ニ效力ヲ及ボスヤ否ヤト云フコトヲ御疑ニナッテ居ルコト、思ヒマス、御説ノ如クニシテカト思ヒマス、故ニ唯默ツテ民法通リ法律ヲ出シマセヌケレバ、勿論債務者ガ直チニ債權者ノ同意ヲ得ナイデ代ルコトハ出來ナイノデアリマス、ソコデ此法律ヲ出スノデアリマス、而シテ此法律ヲ出シテモ、若シ外國ニ於ケル債權者ヲ拘束スルコトガ出來ナケレバ、此法律ハ何等效力ハナイ譯デアリマス、其點ニ付キマシテハ、一體此外國ニ於ケル債權者ト満鐵トノ間ノ契約ハ何レノ國ノ法律ニ基イテ契約シテ居ルト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバ、ナラナイ、是ハ三種ノ點カラ日本ノ國法ニ基イテ契約シテ居ルト云フコトガ明カデゴザイマス、其第一點ハ英貨社債千二百万磅ヲ三回ニ發行シテ居リマスガ、其目論見書即チ「プロスペクタス」ニ依ルト、明カニ日本ノ國ノ法律ニ依ルト云フコトヲ明記シテアル、即チ當時ノ當事者ノ意思ト云フモノハ、日本ノ法律ニ依ルト云フコトガ明カデアルト思フノデアリマス、更ニ此社債ニ付キマシテノ國際間ノ慣例ヲ承ハリマスレバ、社債ヲ發行シタ會社ノ所屬國ノ法律ニ依ル、斯ウ云フコトガ國際間ノ慣例デアルヤウデアリマス、其點ヨリ考ヘマシテモ即チ日本ノ法律ニ依ルコトニナルノデアリマス、ソレカラ更ニ又我國ノ法例ノ上カラ研究イタシテモ、法律ヲ異ニシマス國ノ間ニ於テノ契約ノ性質並ニ其效力ニ付キマシテハ申込地ノ法律ニ依ル譯デゴザイマス、其申込地タル英吉利ニ於テハ、社債ハ社債發行國ノ法律ニ依ルト云フコトニナッテ居ルサウデアリマス、此點カラ考ヘマシテモ、結局日本ノ法令ニ依ルコトニナルノデアリマス、ソレカラ更ニ先例ヲ申上ゲマス、關西鐵道株式會社並ニ北海道炭礦鐵道株式會社ガ矢張リ英吉利ニ於テノ社債ヲ持ツテ居リマシタノデアリマス、確カ關西鐵道ハ四十萬磅、北海道炭礦鐵道會社ハ全體デ百万磅デアリマシタカト思ヒマスガ、是ガ明治四十年十月一日國有ニナリマシテ、其際に發布ニナリマシタ國有鐵道法ノ第四條ニ、此鐵道ヲ國有ニ致シマスルト同時ニ、會社ノ權利義務ヲ當然承繼スルト云フ規定ガアルノデアリマス、此規定

ノ結果トシテ、今申上グマシタ關西鐵道株式會社並ニ炭礦鐵道株式會社ノ社債ヲ即チ今日ト同様ノ意味ニ於テ政府ノ債務ニ肩替リシテ居ルノデアリマス、此先例ニ於テハ何等其後異議ノナイノミナラズ、既ニソレゾレ國有鐵道法ノ規定ニ依ツテ、著々社債ノ元利ヲ拂ッテ居ル次第デゴザイマス、此先例ハ恰モ今回ノト同様デアルノデアリマス、故ニ詰リ此社債權者トノ法律ノ關係ハ、日本ノ國法ニ依ツテ居ル、斯ウ云フコトガ明カ、デアリマスカラ、日本ノ國法ヲ以テ、此債務者ニ當然肩替リスルト云フ茲ニ法律ヲ新ニ出シマスレバ、當然債權者ノ同意ナシニ直チニ債務者ニ肩替リニナリマスルノデアリマス、コレカラモウ一點ハ定款ニ付キマシテノ法律論ト心得マスカラ、一應辯明シテ置キタイト思ヒマスガ、成程定款ニハ政府ガ一億二千万圓ヲ引受クルノ權利ヲ留保スト云フコトガ書イテアル、併ナガラ之ヲ如何ニ拂込ムカト云フコトニ付テハ、現金デ拂込ムト云フコトハ少クトモ定款ノ上ニハ明記シテハアリマセヌ、勿論默ッテ居リマスレバ、普通會社ノ株式拂込ハ現金デ拂込ムノガ原則デアラウト思ヒマス、併ナガラ現金デ拂込ヲシナイトデモ、現金デ拂込ムト同様ノ結果ヲ得マスルナラバ……勿論此際ニ於キマシテハ政府ガ現金デ一億二千万圓ヲ拂込ミマスコト、此法律ニ依リマシテ債務ヲ引受ケマスルコトハ、財源ノ問題トシテハ、此際ニ於テハ流動資金ニ相違ガ生ズルノデアリマス、要スルニ現金デアルノトナイノトハ、流動資本ノ上ニハ是ハ違ヒマスガ、此社債ノ肩替リシマシタ結果、從來ノ一千二百万磅ノ英貨社債ヲ免レ得ルノデアリマスカラ……一億四千万圓ノ中、一億二千万圓ハ一般株主ノ應募デアリマスカラ、此増資ニ依ツテ會社ガ得ベキ所ノ現金計算カラ云ヘバ、一般株主カラ追ニ拂込ミマスル一億二千万圓、之ヲ本トシテ發行シ得ル社債ガ一億二千万圓、コレカラ政府ガ引受ケマシタル一億二千万圓ノ拂込ニ對シテ……多少茲ニ現金ノ差ハアリマスニ二百八十万圓バカリノ差ハアリマスガ、一億千何百万圓ト云フモノデアリマスカラ、要スルニ之ニ對シテモ社債ガ一億二千万圓發行ガ出來ルノデアリマス、而シテ政府今日ノ引受ケニ依リマシテ免レ得ル所ノ、前ノ英貨社債一千二百万磅ニ對スル餘力ガ付クノデアリマスカラ、全體トシテ將來得ベキ現金計算ハ、四億八千万圓近イ計算ニナルノデアリマス、故ニ此引受ケト云フモノガ會社ニ對シテ何等利益關係ノナイ如ク……資本ヲ得ル上ニ付テ何等ノ效果ナキガ如ク御論ジニナリマシタ點ハ、見解ヲ異ニシテ居ルト思フノデアリマス、其他ハ他ノ方ヨリ申上グマス

○中村是公君 唯今ノ御説明デアリマスガ、法律上ノ御解釋ニ付テハ暫ク措キマシテ、私ガ政府ガ此社債ヲ肩替ラシテ何等會社ニ利益スルコトハナイト申上グタノハ、斯ウ云フ意味ナンデ、唯今御説明ニ依ルト、未來ニハ、ソレダケ拂フベキモノヲ拂ハヌヤウニナルノダカラ、何年カ先ニハ免レルデアリマセウ利益ガアルデアリマセウ、併ナガラ現在ニ於キマシテハ、要ル金ハ現在要ルノデアル、先般增资シタニ億四千万圓ノ計畫ハ現在現金ガニ億四千万圓要ルノデアル、此中ノ半額ヲ肩替ラシタソレハ、其肩替ダケノモノハ金ハ這入ラヌ、政府モ其金ハ今拂フノデハナイ、此社債ハ將來拂フノデアル、今満鐵ガ社債ヲ拂ハヌナラヌノヲ政府ガ拂フナラバ、ソレハ分ル、此支拂ハ遠キ未來ニ支拂フノデ、サウシテ現在要ルダケノ必要ニ對シテノ社債ハ、現ニ募集ノ出來ルヤウニナツテ居ル、故ニ申スノデアル、現在ニ於テ毫モ必要ヲ認メナシ、會社ニ取ツテ何等ノ利益ハナイ、未來ニ於テハアリマセウ、ソレカラモウ一ツ申上グタイ、現金拂込ト云フコトハ定款ニ明記シテナイト……固ヨリ明記シテナイ、一億二千万ノ株式ヲ引受ケル權利ヲ存ストアル、是ガ明記シテナイト雖モ、增资ノ計畫ヲ爲ス場合ニ、現金以外ノモノヲ以テ出資スル時ハ、之ヲ明カニ明記シテ置カナケレバナラヌト云フコトハ商法ノ規定デアル、此明記ナクシテ二億四千万ノ增资ヲ決議イタシタ場合ニハ、二億四千万ト云フモノハ何デ出資スルカ、斯ウ申シマスレバ商法ノ規定ノ上ニ基イテ現金タリ、斯ウ言ハナケレバナラヌ、現金以外ノ出資ハ必ズ外資決議ト共ニ、其方法物件ヲ規定スベキ譯ナンデアリマス、其現金以外ノ例外ノ決議ガシテナイ以上ニハ、必ズ現金ノ支拂ト見ナケレバナラヌ、定款ハ……是ハ私ハ明カデアラウト思フ、カルガ故ニ今日此法案ニ出シテ現金拂込ミヲ借金ヲ肩替ヲシテ免レヤウト政府ハ言フノデアル、是ハドウ云フ理窟デサウ云フコトヲ考ヘ出サレタカ、其ノ考ノ起ル元ノ譯ヲ私ハ聽キタイ

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 中村君ノ御質問ニ御答ヘシマス、目下會社ニ於テハ金ガ入用デアル、其入用デアル金ヲ現金デ拂ハヌデハ役ニ立タナイトデハナイカ、將來ハドウニカナルデアラウ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ思ヒマス

○中村是公君 違ヒマス、モウ一應申上グマス、政府ハ總會ニ出席ナサッタ時分ニ、增资ヲ決議スル時ニ、何ト考ヘテ增资ノ決議ニ發言ヲナサッタ、又定款ヲ認可スル時ハ、如何ナル考ヲ以テ定款ヲ認可サレタカ、先づ之ヲ承ハリマ

セウ

○政府委員(古賀廉造君) ソレハ金ハ現金ヲ出資スルト云フ趣意ハナカッタノデアリマス、矢張リ此法律案ニ規定スルガ如ク、社債ノ肩替ニ依ツテ之ヲ出资ニ供シヤウト云フ、事實ノ内約ガアッタ爲メデアリマス

〔中村是公君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵黒田長成君) チヨット御待チヲ願ヒマス

○政府委員(古賀廉造君) 其ノ内約ノ結果、今度此法律案ヲ提供シテ是ダケノモノヲ以テ、此肩替ノ債務ヲ以テ、現金ノ拂込ミト看做スト云フ法律案ヲ造ツタ次第デアリマス、ソレカラ今金ガ要ルデハナイカ、金ヲ拂ハズシテ會社ニ於テドウスルコトガ出來ルカ、斯ウ云フ御質問デアッタヤウデアリマス、是ハ目下滿鐵ニ於テハ五年計畫ヲ定メタモノデアリマス、其五年計畫ノ中ニ約五億圓ノ金ヲ支拂フ積リデ居リマス、其五億圓ノ調金ニ付キマシテハ、先ツ民間増資額ノ一億二千万圓ニ對スル社債ノ額ガ又一億二千万圓、合計二億四千万圓、ソレカラ政府ノ肩替リノ爲ニ一億二千万圓ト云フモノガ一億二千万圓ノ負債ガナクナリマシタ、其負債ニ對シテ、肩替ニ對シテ、又一億二千万圓ノ社債ガ出來ル譯デアリマス、而シテ又政府ノ出資シテ居ル一億二千万圓ニ對スル又社債ガ起ル譯デス、都合四億八千万圓ノ社債資金ヲ得ル譯ニ相成ル、而シテ尙ホ今日マデノ支拂額二千万圓ヲ加ヘマシテ五億ノ金ニナリマス、此五億ノ金ヲ平均五年弱ノ支出ニ依ツテ支拂ヒマシテ先ツ五年間ノ經營ニ充テヤウ、斯ウ云フ次第デアリマス、今國家ノ財政計畫トシテハ政府ハ現金ヲ出資セズトモ、滿鐵ノ事業經營ニ於テ何等差支ヘナイ積リデアリマス

○中村是公君 唯今總會ニ政府ガ出席シテ增資ヲ決議シタ場合ニ於テモ、又定款ヲ認可スル場合ニ於テモ現金ヲ出資ベル考ハ毛頭ナカッタ、此方法デ行ク内諾ガ其以前カラアッタ、斯ウ政府委員ハ唯今明言サレタノデアル、然ラバ總會ニ於テ人ヲ欺イタト云フ結果ヲ來タスノデアル、何故カト云フト總會ガ此方法ヲ一言モセズニ置イテ、二億四千万圓ノ決議ヲスルト云フコトハ、即チ現金デ拂込ムト云フ決議ガアル、現金拂込ノ決議ヲスル時ニハ、政府ノ腹ノ底ニハ社債ノ肩替ヲスル計畫ヲ既ニ持ツテ居ツタ、其計畫ヲ示サズシテ總會ヲ欺イタト云フ結論ニ到著スルノデアリマス、又政府ガ公文書ヲ以テ定款ノ認可ヲスル時ニモ、知ラヌ顔ヲシテ認可ヲシタト云フコトハ、政府ノ意思ニ反

シタ指令ヲシ、政府ノ意思ニ反シテ總會ノ決議ヲシタト云フコトノ結果ヲ免レヌト私ハ思フノデアリマスガ、是ハサウナラヌト御考ヘニナリマスカ、天下ヲ欺イタ、豫メ此計畫ヲ有ツテ居リナガラ、此計畫ヲ胸ニ祕シテ、總會ニ一言モ言ハズニ、現金ヲ拂込ムガ如キ決議ヲシタ、元金ヲ拂込ムガ如キ定款ヲ認可シタ、斯ウ云フコトニナル、實ニ甚シキ偽リト言ハナケレバナラヌト思フノデアル、又唯今ノ將來ニ於テ一億二千万圓ノ社債ガ餘分ニ出來ルデヤナイカ、固ヨリデアリマス、ソレハ私ハ聞クノデナイ、現在ニ於テ二億四千万ノ增资ヲシタノハ二億四千万ノ現金ガ要ルト云フコトデアル、此場合ニ於テ更ニ何等ノ效力ガナイト云フコトヲ言フノデアル、又是ガ爲ニ滿鐵ノ社債ガ今一億出來ルデヤナイト仰ツシヤルカモ知レヌ、是ハ此法案ノ結果デナイ、增资ノ結果ナシタ、増資決議ノ結果デアル、現ニソレガ證據ニハ出テ居ル此案ヲ提出ナサラナイデモ一億圓ノ社債ハ立派ニ出來ル、帝國議會ガ保證サヘ付ケレバ出來ルンデアリマス、實行ノ出來ルカ出來ヌカハ別問題、法律トシテハ出來ル、何ゾ此法案ノ必要ヲ認メル譯ニハ行カナイ、カルガ故ニ明瞭ニ今御答ヲ願ヒタイ

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 政府ハ總會ノ當時社會ヲ欺イタデハナイカト云フ御質問ノヤウデアリマス、政府ガ會社ニ對スル命令ニ於テ、出資ノ方ガ總資本額中一億二千万圓ヲ限り帝國政府ニ於テ之ヲ引受クル權利ヲ保留スト云フ、保留シテ初メカラ命令ヲ下シテ居リマス、其ノ保留ハ即チ今日ノ法案ノ意味ヲ爲シテ居ルノデアリマス、欺イタコトハ毛頭ナイノデアリマス

○中村是公君 私ハ明カニ欺イテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノハ、斯ウ云フ譯デアリマス、ドウモ今ノ御話デハ私ノ間ノ答ニナラヌ、先程總會ヲ御開キニナル時ニ、又定款ヲ認可スル時ニ本案ノ内約ガアッタンダト云フ御話デアル、是ハ確カニ此所デ御明言ニナッタ會社ト政府トスウ云フ方法ヲ執ルンダト云フコトハ、總會當時既ニ内定ヲシタ、内約ヲシタスウ仰シャッタ、其内約ガアッタスレバ、總會ノ決議ヲスル場合ニ於テ、即チ二億四千万ノ増資決議ノ場合ニ於テ何故此方法ヲ總會デ發表シナカッタカ、此タクラミガアルニモ拘ハラズ、知ラナイ顔シテ總會デ二億四千万ノ決議ヲスルト云フコトハ……現金拂込ヲ爲ス、斯ウ云フ決議デアル、是ガ現金拂込ノ決議デハアリマセヌカ、商法ノ規定ニ依レバ、先程來申上ゲマスルヤウニ、増資ノ場合ニ於テハ現金

以外ノ出資ヲスル時ニハ、其方法ヲ公布セヨトアル、此方法ヲ示サズニ増資

ノ決議ヲスレバ現金拂込ハ明瞭ナンデアル、是ハ争フ餘地ガナイ、此争フコ

トノ出来ナイ決議ヲシテ置キナガラ、其決議ノ際ニ既ニ斯ウ云フタクラミノ

アツタノヲ公ニシナイコトガ何デ社會ヲ欺クコトニナリマセヌカ、確ニ是ハ社
會ヲ欺ク敢テ御答辯ヲ煩ハシマス

○政府委員(古賀廉造君) 此席ヨリ御答イタシマス、此重役等ノ間ニ了解ガ
アル、此故ニ唯今政府ノ命令書ヲ讀上ゲマシタ通り、保留ヲ致スト云フコト
ニナツテ居ルノデアリマス、必ズシモ總會ニ於テ云々ト云フコトヲ明言シナケ
レバナラスト云フ意味モナカラウト思フ、此事柄ハ有リノ儘ニ進行イタシタ
次第デアリマス

○中村是公君 幾ラ聞イテモ満足ナ答辯ハ得ラレマセヌカラ、其點ニ付テハ
最早止メマス、然ラバ二億四千万ハ事業計畫上ニ要ル、アトノ一億二千万ハ
拂込ミマスケレドモ、一般株デ……アトノ殘リノ分ハドウナツテ居ルカ、ソレ
カラ現金ヲ拂込ンダ株主ト、現金ヲ拂込マナイ、將來ニ支拂フベキ義務ヲ有ツ
テ、拂込ムト看做シテ株主權ヲ執行スルト云フコトハ、公平ガ保テマスヤ否
ヤ、此苦シイ財界カラ現金ヲ支拂ッテ行ク株主ト、又一厘一毛ヲ負擔ゼズシテ
此法律ノ結果株主トナツテ株主權ヲ執行スルノト何等差異ハアリマセヌガ、株
主ノ權利ノ執行ハ同ジダトスレバ、非常ニ不公平ナ株主ガ出來ルト私ハ思フ、
此點ニ付テハ公平デアルト政府當局ハ考ヘルノデアリマスカ

○政府委員(古賀廉造君) 無論公平ノ積リデアリマス、苟モ此法律ガ成立ツタ
以上ハ、是ハ即チ現金拂込デナカラウガ、何等不公平ナコトハナイト思フ

○中村是公君 私ハ法律ノ結果ヲ今論シテ居ルノデハナイ、此法案ガ通過ス
レバ無論株主トナレル、株主トナレバ株主權ノ執行ガ出來ル、ソレハ寧ロ法
律ノ結果デアル、併ナガラ此ヤウナ法律ヲ作ルノハ公平カ、至當カ、天下ノ
道理ニ適フカト云フコトヲ聞ク、法律ヲ以テ非理非道ヲ敢テセムト云フ結果
ニナリハ致シマセヌカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲル、金ヲ拂ッタ者ト拂ハヌ者
ト、同ジ權利ノ執行ガ出來ル法案ヲ作ラウトスル、拂ッタ者ト拂ハヌ者ト同ジ
權利ノ執行ヲサスヤウナ……法律ノ力ニ依ッテサセヤウト云フコトガ、道理ニ
於テ適フカ適ハヌカト云フ……法律ノ結果出來ルコトハ分ツテ居ル、此點ヲ伺
フ

ナリト信ジテ居リマス

○若槻禮次郎君 他ニ通告ハモウアリマセヌカ

○副議長(侯爵黒田長成君) アリマセヌ

○若槻禮次郎君 ソレデハ私質問イタシタイト思ヒマスガ私ノ御尋シタカツ
タノハ、唯今中村君ノ御述ベニナツタコト、略、同様デアツタノデゴザイマス、

千二百萬磅ノ社債募集ニ付テハ、直接間接ニ關係シタモノデアリマスノニ、
自分等ノ關係シタ事柄ニ付テ斯クモ不道理ナル立法ヲシテ、之ニ應募シタ外
國人ニ向ツテ、日本政府ノ不信用ヲ示サレルト云フコトヲ見マシテハ、私議院
ノ議席ニ居リナガラ何等ノコトモ質問セヌ譯ニハ行キマセヌカラ、ソレ故ニ
先程質問シタイト云フコトヲ申上ゲマシタガ、私ノ御尋ネシタイノハ唯今中
村君ノ言ハレタ通リデアツタノデアリマス、併シ政府ノ御答辯ガ済ニ要領ヲ得
テ居リマセヌ故ニ、私更ニ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、日本ノ法律ニ從
フノデアルカラ、日本ノ法律デ行ケバ其結果ハ悉ク皆之ニ及ブノデアルト云
フ、政府ノ御辯解デアル、ソレハ唯一片ノ理窟デアリマス、極端ニ言ヘバ屁
理窟ト云フモノデアル、サウ云フ理窟モ立テ、見レバ立ツノデアリマスガ、
左様ナ理窟ヲ立て、斯様ナ立法ヲスルト云フ事柄ハ、日本ノ信用ヲ失フコト
ニナリハシナイノデアラウカドウカト云フコトガ、中村君ノ御質問ノ趣意デ
アツタノデアリマス、古賀政府委員ハ、多分アレハ言葉ヲ間違ヘテ言ハレタト
思フ、日本ノ法律デハ債務者ノ替ルコトハ、法律ガ認メテ居ルカラ差支ナイ
ト云フ答辯ヲセラレタ、是ハ後カラノ政府委員ガ正サレタヤウデアリマスカ
ラ、強ヒテ言葉尻ヲ捉ヘテ私ハ申シマセヌガ、債務者ノ替ルコトガ、債權者
ノ同意ナシニ出來ルト云フコトハ、ソレハ何所ニモナインデアリマス、單リ
日本ノ法律ニ於テナインミナラズ、何レノ國ノ民法ニ於テモ左様ナ法ノアル
譯モナシ、又アルベキモノデナインデアリマス、約束ヲシテ、何ンデソレガ
……其債務ヲ履行スルト云フコトヲ考ヘテ、ソレニ依ッテ契約ヲシテ一つノ貸
金ヲシテ居ルト云フ場合ニ、債權者ノ知ラナイ間ニ債務者ガ替ル、斯ウ云フ
コトデアツテ堪マルモノデナインデアリマス、此法律ハソレデアルノデアリ
マス、英吉利デ社債ヲ募集シタ時ニ、債務者ハ南滿洲鐵道會社デアルト云フ
ノデ、英吉利人ハ之ヲ信賴シテ應募シタノデアリマス、ソレヲ一片ノ法律ヲ

○政府委員(古賀廉造君) 政府當局ニ於テハ、本法ヲ以テ洵ニ正當ナル法律

理窟デアリマス、サウ云フコトヲ云ヘバ理窟ハニツニナル、左様ナ立法ト云フモノハ國家ノ信用ヲ維持スル所以ナリヤ否ヤ、是ハ中村君ノ質問デアッタノデアリマス、政府デアルカラ一層信用ノ重イモノダ、信用ノ薄イモノカラシテ信用ノ厚イ方ノ側ニ義務ガ移ルノデアルカラシテ、差支ナイト云フヤウナ御考ガアルカモ知レヌガ、併ナガラソレデアリマスト云フト、貧乏人ノ債務デアル場合ニハ、金持ニ債務ヲ轉換シタ時ニハ一向債權者ノ同意ヲ得ヌデモ宜イト云フ結論ニナルノデアリマスガ、サウハイカヌノデアリマス、契約ヲスル時ノ相手方ト云フモノハ、本人ガ承諾セヌ以上之ヲ變ヘルト云フコトハイケヌト思フ、況ヤ此場合ニハ信用ノ厚イモノニ肩替リヲスルカラ宜イト言ハレルケレドモ、元來ガ此社債ニハ政府ノ保證ガアルノデアリマス、政府ノ保證ト云フモノガ茲ニアルカラシテ、チットモ信用ハ薄クナインデアル、政府ノ保證ノ外ニ應募シタ人ハ南滿洲鐵道ト云フモノニ放資スルノデアルト云フ考デ、ソレデ放資シテ居ルノデアル、ソレガ何時ノ間ニカ……遠方ニ離レテ居ツテ一向ドウ云フ法律ガ出來ヤウガ知ラナイ、恐ラクハ此法律ガ出來上ツタ所ガ英吉利ノ債權者ト云フモノハ、ドンナ風ニ日本ノ法律ガ變ツタト云フコトハ知ルマイト思ヒマス、サウ云フヤウナ所ヘ、能ク周知セシムルコトガ出來ヌヤウナ場合ニ、國內デ法律ヲ變ヘテ、何時ノ間ニカ債務者ヲ移スト云フヤウナヤリ方ガ、ソレガ國ノ不信ヲ買ハヌト云フヤウナコトガアリ得ルヤ否ヤ、是ハ私ハ大問題ダラウト思ヒマス、唯今政府委員ノ御説明ニ依ルト云フト、南滿洲鐵道會社ハマダ～資金ガ要ル、五億圓程金ガ要ル、ソレニハ段々社債ヲ募集スルト云フヤウナ御話デアリマス、其社債募集ハ何處デナナルカ知ラヌガ、一旦南滿洲鐵道會社ガ債務者デアルト言ウテ應募シテ居ル間ニ、何時ノ間ニカ國內法デ以テ債務者ヲ變ヘルト云フヤウナヤリ方ヲ今日スルト云フト、今後ニ於テサウ云フ社債ニ對シ安ンジテ應募スルコトガ出来ルデアリマセウカ、是ハ私ハ餘ホド御考ヘニナラナケレバイカヌト思ヒマス、斯ウ云フヤウナ立法ト云フモノハ、實ニ私ハ國ノ爲メ不當極マルモノデアルト思フノデアル、而カモ山脇君ガ先日モ申サレタ通り、此度ハ法案ヲ僅ノ日數ノ間ニ沟ニ雨ノ降ル如ク出サレテ、殊ニ此法案ナドハ私ハ今朝受取ツタダケデ、漸ク法文ヲ讀ンダ、ケデアリマス、調査スルコトハ逆モ出來ハセヌノデアル、而カモ此法律ノ適用ハチヨット試験的ニト云フ問題ト云フノデハナイ、一國ノ信用如何ト云フ問題ニ關係スル問題デアル、ソレヲ會期ノ沟ニ

尠イ時ニ出シテ置イテ、サウシテ盲滅法ニ之ヲ議決シテ仕舞ハセヤウト云フヤウナヤリ方デ私共ハ政府ノ爲サルコトニ向ツテ、ドウ云フ御考デアルカ理解ニ苦シム次第デアリマス、而シテ唯今中村君カラ質問ガアリマスルト云フト、答辯ハチットモ要領ヲ得ナイ、要領ヲ得ナイノミナラズ、議員諸公ガ皆冷笑ナサレタヤウニ答辯ガ成ツテ居ナイノデアリマス、斯ヤウニ重大ナル案ヲ出シテ置イテ政府ハ御答辯ガ出來ヌト云フヤウナ、沟ニ薄弱ナル理由デ此法案ヲ御出シニナルト云フコトハ、私共沟ニ何ト云フ御越意デアルカ、理解ガ出來ヌノデアリマス、ソレデ改メテ御尋ネスルノハ何故斯ヤウナ債務者ヲ變ヘ……是ハ一國內デモ、國法デ以テ債務者ヲ變ヘルト云フヤウナ契約者ノ意思ニ反スル立法ヲ爲サレルト云フコトハ甚ダ不當ト思フガ、況シヤ外國人ニ向ツテ其結果ノ及ブヤウナ不當ナル立法ヲ、何故ニ爲サルノデアルカ、唯金ガ要ルト云フナラバ、斯ウスル代リニ一億二千万圓ノ社債發行權ヲ與ヘテ、ソレニ向ツテ政府ガ保證ナサレタラソレデ宜イノデハアリマセヌカ、商法ノ規定ニ據ツテハソレダケノ發行權ガナイト云フコトヲ言ハレマスルガ併ナガラソレナラバ……斯ウ云フ法律ヲ出サレル位ナラバソレダケノ社債ノ發行ノ出來ルダケノ立法ヲ出サレタナラバ、外國ニ向ツテ不信ヲ買フト云フコトモ何モナク出來ルダケノ途ガアルノニ拘ハラズ、斯ヤウナ立法ニセラル、ト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスカト云フコトガ一ツデアリマス、今一ツハ唯今中村君ノ質問ニ對シテ、ドウシテモ御答ニナツテ居ナイノデアリマスガ、二億四千万圓ノ金ガ要ルト云ウテ、此度南滿洲鐵道株式會社ニ增資シタノデゴザイマスガ、サウスレバドウシテモ茲ニ二億四千万圓ノ金ガナケレバナラヌ譯デアル、是ガ肩替リヲシタケデハ金ハ出來ヌノデアル、ソレダト云フト折角増資シタ目的ヲ達セヌト云フコトニナルノデアル、増資ノ目的ヲ達セヌヤウナ、斯ヤウナ不當ナ立法マデシテセナケレバナラヌト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、ソレト同時ニ其一億二千万圓足リナイ所ハドウナサルノデアルカ、若シ是ハ社債ヲ募集シテソレデ充タスノデアルト云フ御方針デアルナラバ、何故初メカラスヤウナ立法ヲシナインデ、社債ノ一億二千万圓增發出來ルヤウナ法律案ヲ出シテ、ソレニ對シテ政府ガ保證スルト云フヤウナ手段ヲ御執リナサラヌノデアリマスカ、之ヲ第二トシテ御尋ネスルノデアリマス、第三ニ御尋ネスルノハ、一體日本ニ戰時中ニハ通貨ガアリ過ギテ、ソレガ爲ニ物價ガ騰貴シテ居ル、何トカシテ通貨ノ收縮ヲシタラ宜カラウト云フ、殆ド識者ノ一致シ

タ意見デアッタノデアリマス、左様ナ場合ニ、南満洲鐵道ニ斯ノ如ク資金ヲ要スルナラバ、内地ニ於テ社債ヲ募集シ必要ナル資金ヲ調ヘラレタナラバ、容易ニ南満洲鐵道株式會社ノ財源ハ得ラレテ、其結果トシテ内地デハ通貨ノ收縮ガ出來ルカラ、自然物價ノ上ニモ好影響ヲ與ヘタニ相違ナイ、一舉兩得ナリテ、ポンノ二箇月、三箇月或ハ六箇月ト云フヤウナ、短期ナ資金ヲ借リテ間ニ合セテ置イテ、サウシテ今日經濟界ノ反動時期ニ至ツテカラ、一方ニハ增资ヲスルトカ、一方ニハ社債ヲ募集スルトカ云フヤウナコトヲ言ハレルガ、其南満洲鐵道株式會社ノ經營ノ仕方ト云フモノハ、ドウ云フ譯合ノモノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、而シテ愈々増資ヲセラレタ上ニ於テ、今日デサヘモ三分五厘ノ配當シカナイヤウナモノガ、四分二厘ノ配當ニ政府ノ方ニ向ツテ配當ヲ増サレルカノヤウニ……私ハ豫算關係ハマダ見マセヌガ、議案ニ於テ左様ニ思ウテ居リマスガ、或ハソレハ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、原文ニ引較ベテ見タラヨク分リマセウガ、三分五厘ヲ四分二厘ニ改ムルト云フダケデ、何ノ意味カ分リマセヌガ、恐ラクハ政府ノ配當ガサウデヤト云フノデハナイカト思ヒマスガ、ソレハ増資ヲセナイ場合ニサウナルノデアリマスカ、増資ヲシテ後モ尙ホサウナルノデアリマセウカ、増資ヲシタラ一層利益ガ減リハセヌカト思フノデアリマスガ、ソレガ增至云フヤウナ見込ノ出ルノハ、何處カラ出ルノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ是ハ私ハ申スコトハ甚ダ宜シクナイカト思ヒマスガ、此肩替リヲスルト云フノハ、唯増資ノ場合ノ一種ノ方法ト云フバカリデアリマスカ、或ハ南満洲鐵道株式會社ガ、此社債償還ニ付テ今日幾ラカ疑ヲ懷イタ爲ニ、政府ノ方ニ向ツテ此機會ニ増資ヲシテ貰ヒタイ、政府亦サウヤツテヤル方ガ適當ダト御思ヒニナッタノデアリマスカ、此點ハ私共斯クノ如ク信ズルコトヲ好ミマセヌ、又サウアッテハナラヌト存ジマスルガ、若シ左様ナ意味ガ此中ニ含マレテ居ルナラバ、別ニ又考ヘナケレバナラヌト思ヒマスルカラ、是モ亦御答辯ノ際ニ一應御答ヘ願ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣男爵高橋是清君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵高橋是清君) 唯今若観サンカラノ御質問ガ、四五箇條ゴザイマシタガ、法律關係及ビ南満洲鐵道會社ノ營業上ニ關スル内部ノコトニ付キマシテ、サウ云フコトニ付キマシテハ私ハ寧ロ不案内デアリマス、モウチ

ト私ヨリヨク心得テ居ル者カラ御答ヘシタ方ガ宜カラウ、唯外國ニ對シテノ信用云々ト云フコトダケハ私モ考ハタノデアリマスカラ、御答ヲシマスガ、元來此南満洲鐵道會社ノ外債ト申シマスルモノハ、若観君能ク御承知ノ通りデアル、當時南満洲鐵道株式會社ト云フモノ、信用デハ、外國ニ於テ此社債ノ募集ハ不可能デアル、日本政府ノ元利ノ保證ガアッテ、初メテ外國人ガ此社債ヲ安心シテ有ツコトガ出來ルノデアル、サウ云フ事柄ハ政府ノ元利支拂ノ保證付ノ社債デアリマス、故ニ之ニ投資シタ者ハ南満洲鐵道ノ營業權トカ、或ハ其總アノ施設物ヲ抵當ニ取ツテ、所謂鐵道抵當ノ亞米利加ナドノ債券トハ違フノデアリマス、故ニ之ニ放資シタ人ハ、唯安心シテ元利ガ取レルト云フ無形ノ信用ニ對シテ應募シタ譯デアリマス、而シテ此無形ノ信用ヲ與ヘタルモノ即チ政府デアル、日本政府ガ元利支拂ヲ保證シタ其無形ノ信用ニ依ツテ應募シタモノデアリマスガ故ニ、今日南満洲鐵道ト政府トノ間ニ於テ、元利ノ支拂ニ付テハ南満洲鐵道株式會社ノ經濟狀態如何ニ拘ハラズ、政府ガ之ニ加ツテ支拂ヲスルト云フコトノ事實ガ海外ニ分リマシタナラバ、此債券所有者ハ一層ノ安心ヲ置クコト、私ハ考ヘル、固ヨリ南満洲鐵道株式會社ト當時發行銀行トノ間ニハ契約ガ出來テ居リマス、此契約ニ從ツテ海外ニ於テ此債券ヲ所有シテ居ル者ハ、若シ利息ヲ拂ハナイ、若シ元利償還ノ期限ガ來テソレヲ拂ハヌ時分ニハ、第一ニ契約ニ依ツテ南満洲鐵道ニ是ハ請求シマセウ、是ハ決シテ彼等ノ権利ヲ奪ツタ譯デナイ、其請求ノ權利ハ今日アルノデアル、而シテ南満洲鐵道株式會社デ直チニ是ハ政府デ支拂フカラト云ウテ、支拂ヲ政府カラ受ケレバ是デ所有者ハ宜イ譯デアル、今日債權者ノ承諾ヲ得ナイノデ南満洲鐵道株式會社ト日本政府トノ間ニ於テ保證シテアルモノデ、直接支拂ノ義務ヲ政府ガスルト云フコトニナッタノデアリマスカラ、此點ニ於テハ會社ニ對シテ信用ヲ失墜スルト云フ結果ハ生ジマイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、若シ是ガ唯金ヲ貸すト云フ外ニ意味ガアッテ、或ハ其營業權若クハ敷設シテアル所ノ鐵道、總テノモノヲ之ヲ擔保トシテ金ヲ貸シテ、他日之ヲ現金償還ノ代リニ此權利ヲ得タイ、此モノヲ得タイト云フコトカラ、此借款ガ起ツタモノデアリマスレバ、是ハ容易ナラヌコトデ今日中々容易クハ承知シナカラウト思ヒマス、債權者ニ於テ苦情ガアルト思ヒマス、是ハ前申ス通リ無形ノ信用ヲ本トシテ、之ニ對シテノ放資者デアリマスカラ、南満洲鐵道ニ代ツテ日本政府ガ直接元利ヲ支拂

フト云フコトニナリマシテ、何等是ガ爲ニ彼等ニ不都合モ與ヘルコトモナシ、又此政府ノ信用ヲ落ス譯モナカラウト考ヘテ居リマス、ソレダケ御答ヲシテ

後ノコトハ、當局者ヨリ御答ヲスルヤウニ致シマス

○若規禮次郎君 唯今大藏大臣ハ、他ノコトハ他ノ委員カラ答ヘルト言ハレタト私ハ聽キマシタガ、サウヂヤナカッタノデアリマスカ、サウヂアリマスルト、マダ續イテ居リマスト思ヒマスガ……

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 甚ダ相濟ミマセヌガ、若規君ノ質問ノ殘タ要領ヲ、チヨット御示シヲ願ヒタイ

○若規禮次郎君 ソレデハ先程大藏大臣カラ御答辯ヲ得マシタガ、是ハ日本ノ保證ト云フコトガ應募者ノ主ナル決意ノ土臺ニナッテ居リマスカラ、之ニ肩替リヲサレルコトハ決シテ外國人ヲシテ不安ノ念ヲ起サシメナイコトデアルト云フ、大藏大臣ノ御答辯、然ルニソレハ見込デアリマス、大藏大臣ハサウ御覽ニナル、私共ハ政府ガ保證シテ居ル以上ハ政府ガ肩替リヲ致サヌデモ、應募者ハ洵ニ安心シテ居ルノデアル、其所ノ點ニ於テ政府ガ債務者ニナッテモ肩替ヘラシナイデ居ツテモ、應募者ノ之ニ對スル安心ノ程度ハ私ハ變ラヌト思ッテ居ル、ソレハ變ラヌガ、唯變ラナイノニ何時ノ間ニカ債務者ヲ變ヘルト云フヤウナ、日本政府ト云フモノハ契約デヤッテ居ルモノヲ、法律ヲ出シテ何時ノ間ニカ變ヘルト云フヤウナコトヲスルモノダト云フ觀念ヲ、外國人ニ懷カセシメルト云フ事柄ハ、ソレニ對シテ外國ノ不安ヲ買フト云フコトニナル、非常ナル利益ガアレバ兎ニ角、非常ナル利益ガナイナラバ左様ナコトヲスル必要ガナイト云フノガ私ノ第一問デアルノデアリマス、是ハ大藏大臣ガ御答ヘニナッテ、私ハ之ニ満足ヲセヌケレドモ、更ニ政府委員ノ説明ハ之ニ付テハ求メヌノデアリマス、意見ガ違ツテ居ル、私ハ大藏大臣ノ御答辯ヲ得タケレドモ、斯ノ如キ立法ハ不當デアルト云フ當初ノ考ヲ變ズルコトハ出來ヌト云フコトダケハ申上ゲマスガ之ヲ御尋ネスルノデナイ、其次ハ二億四千万圓ノ金ノ要ル所ヘ、一億二千万圓ダケハ民間ノ出資ガアッテ、アトハ唯此肩替リト云フコトデハ、金ガナクテ仕事ガ出來ヌノデハナイカト云フヤウナ質問ニ對シテ、御答ヘガハツキリシナカッタ、ソレハドウナサレルト云フノガ第二問、若シ先程古賀君ノ御答ニナッタヤウニ、ソレハ社債ヲ募集シテ埋合セヲスルダト云フ御答辯デアルナラバ、何故斯ノ如キ不當ナル立法ヲシナイデ、初メ

カラ唯社債ノ發行權ヲ定メタ法律ヲ出サヌノデアルカ、是ガ第二問デアリマス、第三問ハ南滿洲鐵道株式會社ガ今日斯様ナ增資ヲスルトカ社債ヲ募集スルトカ云フコトヲ言ヒ出シテ來テ居ルガ、今日ハ反動時期ニナッテ、洵ニ其實行ノ出來ニクイ時ニナッテ居ルヤウデアル、最モ前ニハ内地デハ資本ガ溢レル如クアッテ、南滿洲鐵道株式會社ガ社債デモ募集シテ、ソレヲ滿洲ニ持ツテ行ツテ使ツタナラバ、南滿洲鐵道株式會社ハソレガ爲ニ事業ノ資金ヲ得ラレル、又内地デハ是ガ爲ニ通貨ノ收縮ニナッテ物價ノ上ニモ好影響ガアッタ、其時ハ云フ譯デアルカ、而シテ今日ノヤウナ時期ニナッテ増資ヲスル、社債ノ募集ヲスル、斯ウヤラレルノハマルデ時期ヲ失シタヤウニ思フガ、其點ハ政府ハドウ云フ御考デアルカト云フコトデ、ソレカラ今一ツハ増資ヲシタ揚句ニナレバ、寧ロ利益ガ減ルト私ハ思フガ、政府ノ方デハ配當ガ増スヤウナコトニ計畫セラレテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、左様デアリマスカ、若シソレナラバ增资ヲシテ更ニ利益ガ増スト云フノハ、ドウ云フ所カラ御見込ニナルノデアリマスカ、其點ヲ御示シヲ願ヒタイ

○政府委員(古賀廉造君) 第一ノ御質問ハ、或ハ政府ニ於テ社債ノ増額ヲ許スト云フコトモ一法カモ知レマセヌ、現ニ資本額ニ超ユルコトノ出來ナイ程度ニ、社債ガ出來ルコトニナッテ居ル、ソレヲニ倍三倍トスルコトモ、宜イカモ知レマセヌ、是ハ一ツノ見込デアリマス、併シ政府ニ於テハ矢張リ同ジク出来ルコトデアルナラバ、資本ノ増資ヲ爲シテ其増資ニ相當スルダケノ社債ヲ起スト云フコトニ極メタノデアル、其方ガ最モ穩當デアラウト考ヘルノデアリマス、而シテ最前中村君ノ御質問ニ御答シタ通り、先づ以テ滿鐵ニ於テハ五年計畫ヲ定メマシタ、五年ノ間ニ五億ノ金ヲ得テ、其間ハ一年平均約一億弱ノ金額ヲ支出シヤウ、斯ウ云フコトニ定メマシタ、其五億ノ中ニハ政府ノ出資ノ約一億二千万圓ト、又ソレニ相當スル社債ノ一億二千万圓ト、合計二億四千万圓ヲ含ンデ居リマス、五年計畫ノ中ニ政府ノ出資シタ分モ含ンデ居ル譯デアリマス、是ダケ御答ヘ致シマス、ソレカラ次ニハ現在財界悲境ノ場合ニ臨シデ増資スルノガ、時ヲ得ヌデハナイカト云フ御質問デゴザイマス○若規禮次郎君 サウ仰シヤルト、誠ニ私ノ趣意ガ十分ニ分ラヌノデアリマスガ、モット前、即チ昨年一昨年ノ頃ニ於テハ、内地ニ非常ニ資金ガ有餘ル程アッテ、之ヲ海外ニ放資スルガ宜イトカ、外債ノ償還ニ充ツル方ガ宜イトカ云

フ議論サヘモアッタ、サウ云フ時ニ満鐵デ社債ヲ募集ナサッタナラバ、内地デ
募集ナサッテ資金モ容易ニ得ラレルシ、又ソレガ爲ニ内地ノ方デモ通貨ノ收縮

ニナッテ、非常ニ都合ガ好イ筈デアッタガ。其時ニ一向サウ云フ考ラナサラナ
カッタノハドウ云フ譯カト云フコトガ、質問ノ主ナル點デアリマス、ソレヲ誤
ラレテ、今日ノ如キ時ニ斯ウ云フコトヲヤラヌナラヌヤウニナッタ、是ハ寧ロ
結果デアリマス、既往ニ……前ニモット適切ナ施設ヲ何故セラレナカッタト云
フノガ私ノ質問ノ趣意デアリマス

○政府委員(古賀廉造君) 満鐵ガ當初二億四千万圓ノ資本デ、二億四千万圓

ノ社債ヲ起ス能力ヲ持ッテ居ッテ、ソレデ從來カラズット事業ノ必要上社債ヲ起
シマシテ、其社債ヲ起シタ額ト資本金ト合シマンテ、丁度昨年ニ至ッテ三億
六千九百万圓ノ金ヲ集メタノデアリマス、是以上ハ最早ドウモ満鐵ニ於テハ
集メル能力ガナカッタノデアリマス、應分ダケ即チ自分ノ能力ニ相當ダケ社債
ヲ起シマシテ、事業ノ發展ヲシテ來タノデ、即チ自分ノ應分ダケノモノヲ全
部使ツテシマッテ、今日ニ至ッタノデアリマス、ソレデ今日始メテ此法案ヲ起ス
ト云フ必要ヲ認メタ譯ナシデアリマス

○若槻禮次郎君 一問ヅ、御尋スルガ便利ト思ヒマスカラモウ一遍伺ヒマス
ガ、ソレデハ唯今ノ御答ニ依ルト、社債發行ノ權能ガ盡キテ居ッタト云フコト
デアリマスガ、私ハ斯ウ云フ法律上ノ權能ノ有ル無シヲ御尋スルノデハナイ、
權能ガ無イナラバ更ニ社債ヲ發行スルコトノ出來ル法律ヲ御出シニナレバ宜
イ、私ノ申スノハ、事實ガ内地ノ財界ガ斯ノ如ク好況デアル、而シテ満鐵事
業ヲナサラナケレバナラヌ必要ノ起ッテ居ルコトハ、彼ガ如クデアル、其必要
ガアルナラバ、丁度内地ノ財界ノ好況ノ時ニ募集スレバ宜イノデアル、其時
ニ社債募集ノ權能ガ盡キテ居ッタラバ、何時デモ法律案ヲ御出シニナルカ、或
ハ政府カラ此社債ヲ募集スルト云フ案デモ御出シニナレバ、何トデモ出來ル
ノデアル其計畫ヲ政府ガ爲サレヌト云フノハドウ云フ譯デアルカ、又満鐵ガ
政府ニ向ッテサウ云フヤウナ計畫ノ御相談モセラレナカッタノハ、ドウ云フ譯
デアルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス

○政府委員(古賀廉造君) 分リマシタ、凡ソ負債ヲ起スニモ、其必要ヲ感ゼ
ヌケレバ負債ヲ起サヌモノダラウト思ヒマス、又景氣ノ好イ時ニハ満鐵ニ於
テソレホド先ヲ見越シテ負債ヲ起スホドノ必要ハ無カッタノデアリマス、自分
ノ懷ニ在ルダケノ金デヤリ得ルダケノ事ヲヤツテ濟ンデ居ッタノヲ、今日始メ

テ必要ヲ感ジテ、募集ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニナッタノデアリマ
ス

○若槻禮次郎君 ソレデハ益分ラヌコトニ相成ツタ、満鐵ハ有ルダケノ金ヲ
モ、ナゼ長期ノ社債ヲ起シテ經營ヲ全ウセラレヌノデアルカ、其時怠ツテ居ラ
レテ、今日ノ如キ金融ノ梗塞シテ募集ノ困難ニナッタ時ニ社債ヲ募ラレルノハ
ドウ云フ譯カ、過日モ一億ノ金ガ内地デ募集ガ出來ヌデ、亞米利加デ募集ス
ルト云フコトデアリマシタ、サウ云フ困難ノ時ニ募集セラレズニ、モット前ノ
好況ノ時ニナゼ募集ヲ爲サレナカッタカ、斯ウ云フノガ質問ノ趣旨デアリマス
○政府委員(古賀廉造君) 能ク分ツテ居リマス、満鐵ニ於テハ成ルホド短期社
債モ起シテ居リマスガ、短期社債ヲ起シタノハ極ク近イコトデアリマシテ、
去年カラ此春ニ掛ケテノコトデアリマス、其以前最モ景氣ノ好イ時代ニハ、
ソレ程窮乏ヲ告ゲナカッタノデアリマス、又事業進行ト云フモノハ、サウ俄ニ
起ルモノデハナイノデ、自然自然ニ進ンデ行クノデアリマス、其事業ノ進行
ニ從ツテ其必要ニ應ズルダケノ事ハヤッテ居ッタノデアリマス、併ナガラ満鐵ガ
全體ノ計畫ヲ致シマスルニハ、永遠ニ瓦リマスル、其遠キ將來ノ畫策ヲスル
ニ付テハ……其將來ドウカスルニ付テハ、何トカシナケレバ、今日ノ二億四
千万圓ノ資本デハ到底行クマイト云フ考ハ持ツテ居ッタノデアリマス、而シテ
實行ヲ爲ス時期ニ今日到著シタ譯デアリマス、ソレマデハドウニカシテ、斯
ウ云フ計畫ヲ行ハウト云フ考ヲ持ツテ、其主義デ此事業ヲ進メテ來テ居ッタ次
第デアリマス、今日ハドウシテモ大計畫ヲシテ將來ノ發展ヲシナケレバナラ
ヌ時期ニ迫ツタト云フノデ、此法案ヲ提出シタ次第デアリマス

○若槻禮次郎君 マダ政府委員ハ御忘レニナッテ居ルヤウデアリマスガ、今ノ
御答モ實ハ成ツテ居ナイノデアリマス、短期社債ヲ起シタノハ近イ頃ノコトダ
ト云ハレルガ、ソレハ過日三千五百万圓ノ社債ヲ發行シタコトヲ言ハレルノ
デアリマセウガ、私ノ言フノハソレデハナイノデアリマス、其外ニ澤山ノ短
期公債ヲ使ツテ居ルノデアル、併シ政府委員ハ御承知ニナッテ居ナイカト思ヒ

マスカラ、其事ハ強ヒテ政府委員ニ御尋致シマセヌガ、マダ外ニ私ノ質問ハ有ツタノデアリマスガ、其事ニハ御答辯ガナイ、ソレハ利益ノ關係デアリマス、ソレカラ更ニ私ハ附加ヘテ御尋致シマスルガ、私共斯ウ云フ法律ノ成立スルコトハ誠ニ宜シクナイコト、存ジマスルガ、斯ウ云フ法律ガ成立シマスト、ドウニカシテ英吉利ノ公衆ニ周知セシムル方法ヲ御執リニナルノデアリマス

カ、元利支拂ノ取扱ヒナドヲ御宣明ニナルノデアリマスカ、ソコヲモ併セテ御尋ネイタシマス

○政府委員(古賀廉造君) 將來ノコトニ付キマシテハ、今後五年ノ間ハ十分ナル收益ヲ收メルコトハ出來ナイデ、或ハ利益ト投資ト比ベマシタナラバ、投資ノ方ガ多クナルラシイ、併ナガラ五年後ニ至リマシテハ、今日マデ起工シテ居ル所ノ、例ヘバ港灣ノ如キモノ、若クハ炭坑ノ如キモノヨリ利益ガ揚ガルベク是ハ港灣事業ノ如キハ段々終リヲ告ゲマスト云フト、將來ハ最早資金ヲ投ズルコトナクシテ、寧ロ是ヨリ舉ガル收入ガ多クアラウト思ヒマス、又炭坑ノ如キモノ、今日ハ僅ニ二百五十万噸位ノモノデアリマスケレドモ、五年後ニ至リマスレバ、是モ六百万噸位ノ多數ニナラウト思ヒマス、此收入モ莫大ト思ヒマス、其他完成スル事業ガ澤山アリマシテ、投ズベキ資金ヨリモ利益ノ方ガ多ク舉ガルヤウニナツテ居リマス、縱令倍額以上ノ増資ヲシマシテモ、將來ノ收入ハ減額スル虞ハナイト信ジテ居リマス

○若槻禮次郎君 今ノ具體的ノ御尋ニ對シテ御答ガゴザイマシタガ、今回ノ増資後モ満鐵會社ハ三分五厘ノ配當ヲ續ケラレマスカ、ドウデスカ、ソレダケ伺ヘバ宜シウゴザイマス、サウシテ私ノ御尋ネシタノハ、極メテ卑近ノコトデ、斯ウ云フ法律ガ若シ成立シマシタナラバ、其事柄ヲ外國ノ人ニモシムルヤウニスルノデアリマスカ、其事ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(古賀廉造君) 従來ハ三分五厘デアリマスガ、今度ハ四分三厘ニ引直シマス、英國ノ債權ヲ肩替リトシテ一億二千万圓ヲ合シテ……満鐵カラ英國ニ拂ツテ居リマス利子ト、政府ニ於テ前拂スル所ノ利子トヲ合シテ、九百何十万トナリマスガ、其九百何十万圓ヲ今度ノ増資額ト先ノ投資額トニ割當テマシテ、丁度四分二厘九毛弱ニナリマス、之ヲ切上ゲテ四分三厘ノ配當ヲ有チマセヌカラ他ノ政府委員カラ御答辯ヲ致サセマス

○中村是公君 唯今三分五厘ガ四分二厘ニ増スト云フコトデアリマスガ、是ハ何ノ理由デ致スノデアリマスカ、ソレダケ營業狀態ガ良クナツタノデアリマスカ

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 社債ノ總額一億二千万圓、是ハ本邦ノ貨幣ニ換算シマシテ一億千七百十六万六千圓ニナツテ居リマス、其内満鐵カラ英國ニ對シテ平均利子四分七厘何毛、總額五百七十万圓ヲ支拂ツテ居ツタノデアリマス、ソレカラ社債利子支拂ノ手數料トシテ一万千九百六十圓、ソレカラ政府ガ公債ノ利子トシテ配當金ヲ得ルニ至ル前ニ支拂ヲスル必要ガゴザイマス、是ガ二十三万五千七百七十六圓、斯ウ云フ計算ニ相成リマス、之ヲ合計シマシテ五百八十一万二千六百四十六圓、ソレニ從來政府ガ一億圓ニ對スル配當金トシテ得タルモノガ三百五十万圓、之ヲ合計シマシテ九百三十一万二千五百四十六圓ト相成リマス、之ヲ先ノ一億圓ト、今度ノ一億二千万圓ト云フモノニ割當テ、之ヲ計算シマスケレバ、丁度四分二厘九毛弱トナリマス、之ヲ少シク引上ゲテ四分三厘ノ配當ニ改メマシテゴザイマス、是ハ別ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スル件ノ中ニ舉ツテ居リマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 最早大分時刻モ過ギマシタカラ此際休憩ヲ致シマシテ、午後一時三十分ニ開會イタシマス

午後零時二十七分休憩

午後一時三十八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵小笠原 長幹君 副委員長 男爵武井 守正君
本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案可決報告書
賠償金特別會計法案可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ午後ノ會議ヲ開キマス

ス、中村君ニ伺ッテ見タイト思ヒマスガ、中村君ハ午前ヨリ引續キマシテ、尙ホ質疑ヲ致サレマスカ
○中村是公君 一遍御伺イタシタイコトガアリマス、午前ノ質問ニ引續キマシテ……

○議長(公爵徳川家達君) 此際御发言ヲ願ヒタイ

○中村是公君 先程古賀政府委員ノ御答ニ依リマスルト云フト、満鐵ガ政府ニ配當ヲ致シマスノハ、從來三分五厘デアッタモノヲ四分何ガシカニ増スノデアリマス、此増スノハ營業ノ成績ガ良クナルガ爲ニ増スノデアルカト云フコトヲ御尋シタ所ガ、サウデナイ、今度社債ヲ肩替スルニ付テ、其社債ノ利息ヲ拂フ爲ニ満鐵カラ貰フノデアルト云フ御答辯デアリマス、デ私ハ社債ノ利息ヲ満鐵カラ貰ハナイデサヘモ、甚ダ不條理ナ不公平ナコトト存ジテ居ルノデアリマスガ、尙且ツ引受ケタ社債ノ利息マデモ満鐵ニ拂ハセルト云フコトデアッテハ、益々不公平ヲ重ネルノデアリマス、何トナレバ一般株主ノ拂込ミマス株ニモ利息ヲ見込マナケレバナラヌ、現ニ高イ利息デ借ッテ拂込ム人ガアルノデアリマス、然ルニ政府ハ肩替ヲシテ株主ニナルト云フコト既ニ不公平デアル、一般ノ株主ト比較シテ不公平デアルノニ、其上政府ハ引受ケタ株ニ利息マデ貰フ、斯ウ云フノデアリマスカラ強慾モ茲ニ至ッテ極ハマル、此社債ノ利息ヲ満鐵カラ貰フト云フコトハ、此法案ニハ何等關係ノ無イコトデアルカラ之ヲ御止メニナレバ不公平ヲ幾ラカ低クスル、社債ノ利息ヲ貰ハナイデモ不都合デアルノニ、其上ニ尙ホ不都合ヲ重ネルト云フノデアリマス、茲ニ伺ヒタイノハ此社債ノ利息ヲ取ラヌヤウニナサル譯ニ行キマセヌカ、之ヲ一應伺ッテ置キタインデアリマス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 御答シマス、今四分三厘ノ配當金ヲ殖ヤシテ政府ガ之ヲ徵收スルト云フコトハ寧ロ不公平ヲ重ネルデハナイカ、一方ニ於テハ單ニ外債ヲ引受ケルト云フ名義ニ過ギナイ、現金モ支拂ハヌデ配當金ヲ取ルト云フコトハ惡イジャナイカ、斯ウ云フ御質問ト思ヒマス、是ハ中村君ニ於テハ満鐵ニ於テハ私ヨリ御精ハシイト思ヒマスガ、寧ロ政府ノ方デ此利子ヲ假リニ支拂フトシタナラバ、一層不公平デハナイカト思ヒマス、何故カト云フト政府ガ一億二千万圓ノ社債ヲ肩替シテ今度政府ノ債務トシタノデアリマスカラ、債務ニ付テハ英國ノ債權者ニ利子拂ヒヲシナケレバナラヌ、満鐵ニ

對シテ何等取ルコトナクシテ政府ハ之ニ對シテ利子ヲ拂ッタナラバ、政府ノ負擔ハ如何ナリマセウ、一億二千万圓ト云フモノハ決シテ名義ダケデハナイン

デアリマス、償還期間ガ到著スル毎ニ満鐵ニ支拂フニ於テハ政府ノ支拂フ公債ニナッテ仕舞フ、ソコデ現金ヲ支拂ハヌデモ政府ノ支出トナルノデアリマス、一億二千万圓ノ支出ニ對シテ三分五厘取タノト同様ニ、幾分ノ配當金デモ政府ニ於テハ不公平ハナイト思ヒマス

○中村是公君 沟ニ解ラナイコトヲ仰セニナル、政府ガ然ラバ現金ヲ出シタナラバドウナル、此現金ト云フモノハ收入ニナル、ソレニ對シテ相當ノ利子ノ取レルモノデアル、社債ヲ引受ケテ其利息ヲ政府ガ負擔スルト云フコトハ當然ノ話デアリマス、ソレヲ利息モ拂ハナイデ株主ニナル、全ク零デ株主ニナルト云フコトニナル、責メテハ社債ノ利息位ハ御拂ヒニナッタ方ガ私ハ當然ト思フ、利息モ拂ハナケレバ何ヲ出スノデアリマスカ、一厘一毛モ出サズニ株主ニナルノデ、高イ利息ヲ拂ッタ一般株主ト同等ノ株主權ヲ施行シヤウト云フコトニナル、沟ニ不條理デハアリマセヌカ、此點ガ伺ヒタイノデアリマス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 同ジ趣意ヲ繰返スヤウデアリマスクレドモ、假リニ満鐵ニヨリ徵收スルコトヲ止メテ、政府自身ガ一億二千万圓ニ相當スル利子ヲ外債ニ對シテ支拂フト云フコトニナリマシタナラバ、満鐵ハドウデアリマスカ、自分ノ是マデ社債トシテ拂ッテ居ッタ利子ダケハ満鐵ハ丸儲ト云クトニナリマス、是デハ政府ハ行附カヌト思ヒマス、現ニ金ヲ一億二千万圓出シテ満鐵ニ拂ハヌデモ、此一億二千万圓ト云フモノハ期限ノ到來スル毎ニ拂フノデアリマス、單ニ名義ダケデハナイノデアリマス、政府ハ名義ダケヲ拂ヘテ御負ケニ利子ヲモ取ルト云フヤウナコトデハゴザイマセヌ、是ハ能ク中村君ハ私ヨリモ明瞭ニ御分リニナルト思ヒマス、是ダケ御答シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマスト南滿洲鐵道株式會社ノ株式引受ニ關スル法律案特別委員
伯爵松平 賴壽君 男爵目賀田種太郎君 男爵島津 久賢君
男爵近藤 康平君 石黒五十二君 加太邦憲君
橋本圭三郎君 高橋源次郎君 安田善三郎君

○議長（公爵徳川家達君）此際諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、就キマシテ議事特別委員長ノ報告ヲ煩ハシ、又議題ト致シタイト存ジマス、就キマシテ議事日程ノ變更ニ相成リマスガ、ソレデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）日程第三、第五、第八、此三案ハ同一委員ニ付託セラレマシタカラ一括シテ五、小額紙幣發行ニ關スル法律案、第八、貨幣法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、毛利男爵

大正八年法律第九號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十二日

右特別委員長

男爵毛利 五郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

小額紙幣發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十二日

右特別委員長

男爵毛利 五郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

貨幣法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十二日

右特別委員長

男爵毛利 五郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

○男爵毛利五郎君 唯今日程ニ上リマシタ、大正八年法律第九號中改正法律案及ビ小額紙幣發行ニ關スル法律及ビ貨幣法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告ヲ致シマス、此委員會ハ正副委員長選舉ノ爲ニ一回開キマシテ、其後二回開會ヲ致シマシタ、三案共ニ關聯ヲシテ居リマス議案デゴザイマスカラ、政府委員ノ説明モ一緒ニ伺ヒマシタ次第アリマス、其政府委員ノ御説明ヲ申上ダマスルト、大正八年ノ法律第九號中改正法律案ニ付キマシテハ二ツノ修正ノ案ガ出テ居ルノデアリマス、即チ第一ハ第一項ノ中大正八年度乃至大正十一年度ニ瓦ルト云フ所ニ對シテ、大正十一年度ヲ十一年度ト云フ修正デアリマス、其次ハ造幣局ノ擴張設備ニ要スル所ノ經費ニ充テル爲ニ、造幣局資金ノ中二百六十一万四千九百五十二圓ヲ限り、一般會計ニ繰入レルト云フノヲ三百四十五万一千二百二十九圓ト改ムルト云フ案デアリマス、丁度其增額ガ殆ド八十三万七千圓バカリデ、之ニ對シテハ政府委員ノ説明ハ其中十万圓ハ既ニ擴張費ニ充テ、アリマス所ノ百十一萬圓ノ上ニ追加ヲスルト云フモノデアリマス、ソレデ大正八年、九年、十年ノ三箇年ニ瓦リ、二億枚ヲ鑄造スル爲ノ設備デゴザイマス、然ルニ始メノ計畫ニ依リマスト甚ダ不十分ノモノデアリマスカラ、之ニ對シテ多少永久的ニ持チマスル所ノ建物ヲ造リ、又物價騰貴ノ結果經費ガ膨脹シタ爲ニ、一方ニ十万圓ノ請求及ビ残リ七十三万餘圓ハ今回ノ硬貨ヲ一億枚鑄造スルト云フ爲ニ必要ナル金額デアリマス、斯ウ云フ説明デアリマシテ、之ニ對シテハ餘リ質問ハゴザイマヌカッタケレドモ、主要ナル質問ガニツツアッタノデアリマス、ソレハ即チ是ダケニ擴張セラレルト硬貨ノ増加ガドノ位ニナルカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテハ政府ハ唯今迄ノ計畫デ、二億枚ノ硬貨ヲ鑄造スルコトニナッテ居リマスガ、此設備デモウ一億殖エル、其前ノ設備デニ二億、總計五億ノ硬貨ヲ毎年鑄造スルト云フ計畫ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ御答辯ガアリマシタ、ソレカラ其五億ニ付テ、五億ノ硬貨ハ如何ヤウニ鑄造サレルカト云フ質問ニ對シテ、確トハ分リマセヌケレドモ、凡ソ其中二億五千万枚ハ銅貨ヲ鑄造スル、其殘リ一億枚ハ多分五十錢銀貨ヲ鑄造スルヤウニナルノデアラウト云フ御説明デアリマシタ、サウ致シマスト十一年度ノ終リニ總計六千五百万圓ノ硬貨ヲ鑄造スルコトガ出來ルヤウニナルノデアリマス、主ナル質問ハ是ダケデゴザイマス、ソレカラ小額紙幣發行ニ關スル法律案ニ付テノ政府

〔男爵毛利五郎君演壇ニ登ル〕

ノ説明ニ依リマスト、是ハ二十錢ト十錢ノ小額紙幣ハ、損傷引換ノ外ハ大正十年四月一日ヨリ發行ヲ止メルノデアリマス、尤モ五十錢ノ紙幣ハ其儘聯續スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ如何ニモ十錢、二十錢ハ小額デアリマシテ、甚ダ損傷ガ多イ爲ニ、成ルベク早ク硬貨ニ取替ヘタイ、斯ウ云フノデ詰リ造幣局ノ擴張ハ主ニ白銅十錢ヲ鑄造スルト云フ點ニ充用セラレルノデアリマス、ソレデ先ツ三年ノ後ニハ一箇年平均十錢白銅ガ一千万圓ヅ、出來マスレバ、三千万圓バカリノモノガ出來ルコトニナリマスカラ、四月一日カラ增加發行シナイデモ宜イト云フコトデアリマス、之ニ付キマシテハ委員ノ方ニヨリ成ルベク早ク市場ヨリ十錢二十錢ノ紙幣ヲ償却セラレタイト云フ御話ガアリマシテ、政府デモ其積リデ居リマスケレドモ、何分造幣局ノ擴張ガ急ニ參リマセヌ爲ニ、十錢二十錢ノ紙幣ヲ満足ニ市場カラ償却スルノハ、三年掛ルト云フ話デアリマシタ、ソレカラ五十錢ノ紙幣ヲ償却スルニハ、六年間掛ルカラ、大正十六七年度ニナッタナラバ全部ノ償却ガ出來ルト云フ御話デアリマシタ、別ニ大シタ質問モ此案ニ對シテハゴザイマセヌガ、唯現今ノ小額紙幣ノ流通ノ總高ニ對シテ質問ガアリマシタガ、ソレハ凡ソ大正九年ノ六月末日ノ調ベニ依ルト、五十錢紙幣ガ一億四千六百万圓、ソレカラ二十錢ガ八百三十八万圓、十錢ガ三千万圓ニナツテ居ル、總計一億八千万圓バカリノ小額紙幣ガ現在流通シテ居ル次第デアリマスガ、大正九年度ノ豫定ニ依リマスト、四千二百萬圓ガ增加發行ノコトニナツテ居リマスガ、其中既ニ二千六百万圓ハ發行シタノデアリマスカラ、殘リ千六百万圓バカリノ紙幣ヲ、十年度ノ三月末日迄ニ發行スル考デアルト云フ政府ノ御話デアリマシタ、是ガ大體此小額紙幣ニ對シテノ御質問ナリ御答辯デアリマス、ソレカラ貨幣法中改正法律案ノ説明ヲ聽キマスルト、是ハ銀ノ相場ガ甚ダシク變動イタシマシテ、近來ニ於キマシテ約五片半ノ標準價格ガ實際ノ價格デアリマシタノガ、八十五片ニモナリ近來少シ下リマシテ五十一片半ニ下落イタシマシタガ、如何ニモ十錢銀貨ヲ鑄造スルコトハ危險デアルト云フコトデアリマスカラ、貨幣法ヲ改正イタシマシテ十錢ノ銅貨ヲ主ニ鑄造スルト云フ案デアリマス、其爲ニ今ノ案ト關聯シテ造幣局擴張ノ必要ガアルト云フ御話デアリマス、之ニ付キマシテモ多少ノ御質問ガアリマシタガ、其中十錢銅貨ノ目方或ハ直徑大キサナドニ付テ質問ガアリ、其御答辯ニ依リマスルト、十錢銅貨ハ今ノ五錢銅貨ヨリ少シク大形ニシマシテ、目方モ一匁ト云フコトニ決メラレマシテ、直徑

ハ七分三厘ニナリマス、五錢ノ方ニ付キマシテハ、今ヨリ少シク小サクナリマシテ、現今ニ於テハ六分八厘ノ直徑デアリマスノヲ六分三厘ニ變更サレタ、目方モ七分ト云フ目方ヲ標準ニサレルサウデアリマス、ソレカラ白銅ノ混合ニ對シテ御質問ガアリマシタニ對シテノ答辯ハ、此白銅ハ千分ノ二百五十ガ詰リ造幣局ノ擴張ハ主ニ白銅十錢ヲ鑄造スルト云フ點ニ充用セラレルノデアリマス、ソレカラモウ一つ改正案ノ第十條ニアリマスノハ、ニヨリ成ルベク早ク市場ヨリ十錢二十錢ノ紙幣ヲ償却セラレタイト云フ御話「ニッケル」デアリマシテ、アトノ七百五十ガ銅デアル、是ハ混合ノ法デアルト云フ御話デアリマシタ、ソレカラモウ一つ改正案ノ第十條ニアリマスノハ、今マデノ法定通用價ヲ、即チ白銅貨及ビ銅貨ノ通用價ヲ一圓トアリマシタノヲ五圓ニ改メラレルノデアリマス、是ハ十錢ノ白銅ガ鑄造サレルニ付キマシテ、五圓ト云フ風ニ定メラレルト云フコトデアリマス、是ガ三案ノ説明デアリ、又委員ノ御方カラノ御質問ノ要點ヲ申上ゲタノデアリマスガ、サテ一案ヅ、探決ニ及ビマシタ所、大正八年法律第九號中改正法律案ハ、滿場一致ヲ以テ可決イタシマシタ、ソレカラ小額紙幣發行ニ關スル法律案ハ是モ同様ニ滿場一致ヲ以テ可決サレマシタガ、或ル一委員カラ希望ガ出マシテ、其希望ハ現今ノ小額紙幣、二十錢、十錢ノ小額紙幣ヲ數年前ニ濫發シタ結果ニヨリ、物價騰貴モ幾分カ此原因ニ依ツテ來タサレタノデアルカラシテ、成ルベク早ク銷却シテ貰ヒタイト云フ御希望デアリマス、是ハ政府委員ニ於キマシテモ、造幣局ノ鑄造能力ニ依リマシテ、三箇年若クハ四箇年ノ後ニハ大抵市場カラ銷却スル積リデアリマスケレドモ、尙ホ此委員ノ御希望ニ依リ成ルベク早ク銷却ヲスル積リデアルト云フ御答辯ガアリマシタ、即チ小額紙幣發行ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、其希望ヲ滿場一致ヲ以テ委員會ハ容レマシテ、サウシテ可決ニナツタ次第デアリマス、其次ニ貨幣法中改正法律案モ、矢張リ同様ニ意見ヲ問ヒマシタ所ガ、別ニ異議ガアリマセヌデ、滿場一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、是ガ三案委員會ノ經過及ビ結果ノ報告デアリマス、終リニ附加ヘマシテ、此三案ハ非常ナル必要ナ案デアリマスルシ、且又簡単明瞭ナ案デアリマスルカラシテ、讀會省略ヲ以テ御決議アラムコトヲ希望イタシマス

○大谷嘉兵衛君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○子爵本多忠鋒君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○男爵德川厚君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

- 男爵藤村義朗君 賛成
 ○男爵山中信儀君 賛成
 ○男爵武井守正君 賛成
 ○男爵内田正敏君 賛成
 ○鈴木總兵衛君 賛成
 ○男爵伊瀬知好成君 賛成
 ○伯爵吉井幸藏君 賛成
 ○議長(公爵徳川家達君) 毛利男爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 起立者 多數
- 議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス
 ○議長(公爵徳川家達君) 三案共原案ニ御異存ゴザイマセヌカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 日程第四、議院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、蜂須賀侯爵ノ登壇ヲ求メマス
- 議院法中改正法律案
- 右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
- 大正九年七月二十二日

右特別委員長
侯爵蜂須賀 正韶

- 貴族院議長公爵徳川家達殿
 「侯爵蜂須賀正韶君演壇ニ登ル」
- 侯爵蜂須賀正韶君演壇ニ登ル
 議院法中改正法律案ノ委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告
 イタシマス、是ハ御承知モアル如ク、議員ノ歳費増額ノ件デゴザイマシテ、先づ歐米各國ニ於ケル國會議員ノ歳費ニ付キマシテ調査ヲ致シマシタ、至ッテ簡單ナル案デゴザイマスデ、讀會ヲ省略セラレマシテ速ニ決定アラムコトヲ希望イタシマス
- 侯爵細川護立君 読會省略賛成
 ○男爵山内長人君 読會省略賛成
- 男爵藤井包總君 賛成
 ○男爵阪井重季君 賛成
 ○男爵山根武亮君 賛成
 ○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第一讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 起立者 多數
- 議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
 ○伯爵柳原義光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
 ○子爵伊集院兼知君 賛成
 「其他「賛成」ト呼フ者アリ」
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
 「伯爵柳原義光君發言ノ許可ヲ求ム」
- 議長(公爵徳川家達君) 少々御早ウゴザイマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存アリマセヌカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ
- 伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
 ○子爵西大路吉光君 賛成
 ○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
 ○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通り、御異議アリマセヌカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵徳川家達君) 日程第六、公有林野官行造林法案、政府提出、衆

議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、吉井伯爵

公有林野官行造林法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十二日

右特別委員長
伯爵吉井幸藏

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 公有林野官行造林法案ノ特別委員會ノ經過及ビ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ニ於キマシテハ、精シイ政府ノ説明ヲ聞キ、又各委員多數ノ質問ヲサレマシテ能ク分リマシテゴザイマス、此法案ハ荒廢セル公

有林野ニ對シマシテ、國費ヲ以テ造林ヲ施行シ、國土ノ利用及ビ保安ノ目的ヲ達成スル爲メ、本法ニ於テ國ノ事務トシテ施行スルノ基礎ヲ定メタイト云フ意味デアリマス、目下公有林野デ造林ニ適當致シマスル無立木地ガ約百万町歩アルノデアリマス、其内三十五万町歩ハ四十三年ニ始リマシタ治水費ノ内ヨリ、植林スルコトニナッテ居リマス、其六十四万町歩ノ内三十三万町歩、約半分、此際此法律ニ依ツテ國ノ事業トシテ造林シャウト云フノデアリマス、抑、此公有林野ノ造林及ビ其經費ハ公共團體ヲシテ行ハシムルノガ本旨デアルサウデアリマスケレドモ、從來ノ成績ニ依リマスルト甚ダ其成績ガ惡イノ

デアリマシテ、ソコデ之ヲ公共團體ニ打任シテ置イテハ、何時完成スルカ分ラナイ、立派ナ國土ヲ無益ニ其儘デ置クト云フコトハ、誠ニ遺憾ノ譯デアリマスカラ、此際三十三万町歩ダケヲ政府デ公共團體ト分收ノ約束ヲ致シマシテ造林ヲスルト云フノデアリマス、サウシテ殘リノ公有林野ノ造林ヲ促進シ及ビ將來木材ノ需要ニ備ヘムトスル目的デアル、此計畫ハ市町村ハ土地ヲ提出致シマシテ、サウシテ極ク簡易ナル森林ノ保護ニ當ルノデアリマス、政府ハ其事業……國費ヲ以テ造林スルト云フ計畫ハ、總體デ百二箇年掛リマス、

此百二箇年ヲ二期ニ分ケマシテ、初ノ十五年間即チ植栽事業、アトノ八十七箇年ハ營林及ビ伐採事業デアリマス、總テ此事業ハ大林區署ニ監督セシムル、樹種ハ杉、檜、赤松、落葉松樹等、尙ホ土地ニ依リマシテ必要ノ種類ヲ植付ケルコトハ勿論ノコトデアリマス、此事業ノ爲ニ政府ガ支出スル金額ハ、第一期ニ於キマシテ四千五百三万五千八百三十九圓、第二期ニ於キマシテ三千

五百九十三万二百九十九圓トナルノデアリマス、此事業ニ對シマシテ收入ハドウナルカト申シマスト總收入ガ二十六億三千五百四十二万二千圓トナルノデアリマス、此半額十三億餘ガ政府ノ收入トナルノデアリマス、是デ此事業ヲ成功致シマスル結果、此理由ニ述べテアリマスル處ノ他ノ公有林ノ造林ヲ促進スルノミナラズ、又將來ノ木材ノ需要ニ應ズル準備ガ出來ルノミナラズ、他ニモ色ト利益ノアルコトガアリマス、即チ荒廢シタ林野ヲ旺盛ナル森林トナシ、尙ホ地方公共ノ林業ノ發達ヲ促進スルコト、水源涵養、治水、其他國土保安上ノ及ボス處ノ效果ガ多大ナモノデアル、是ガ爲一般經濟上ニ影響スルコトモ亦大ナルモノデアルノデアリマス、此事業ハ當局デ心配サレテ居ツタノデアリマシテ、種々ノ事情ノアッタ爲ニ延ビ延ビニナッテ居ツタ、漸ク昨年暮ニ議會ニ出スコトヲ得テ、衆議院ヲ通過シテ貴族院ニ來テ議セラル、前ニ解散ニナッテ止ムデ居ツタノデアリマス、此事業ハ此ノ如キ次第デアリマシテ委員會ニ於キマシテハ、數人ノ御方ミカラ御意見ガ出マシタガ、皆至極此事業ハ宣シイト云フ賛成ノ意見デアリマシテ全會一致ヲ以テ可決スペキモノナリト決議イタシマシタ、此段御報告イタシマス、斯様ナ明瞭ナ案デアリマスルシ、且有益ナ案デアリマス、殊ニ會期モ切迫致シテ居リマスカラ、ドウゾ是モ讀會ヲ省略シテ御決議アラムコトヲ希望致シマス

○子爵西大路吉光君 読會省略贊成

○男爵黒川幹太郎君 贊成

○子爵堤雄長君 贊成

○鈴木摠兵衛君 贊成

○高橋琢也君 贊成

○子爵木多忠鋒君 贊成

○子爵京極高義君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒ

マス
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

樹種ハ杉、檜、赤松、落葉松樹等、尙ホ土地ニ依リマシテ必要ノ種類ヲ植付

ケルコトハ勿論ノコトデアリマス、此事業ノ爲ニ政府ガ支出スル金額ハ、第一期ニ於キマシテ四千五百三万五千八百三十九圓、第二期ニ於キマシテ三千

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○男爵黒川幹太郎君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程等七、關稅定率法中改正法律案、政府提出、

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、柳原伯爵

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正九年七月二十一日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 唯今議題ニナッテ居リマス、關稅定率法中改正法律案ノ委員會ノ經過、並ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ二十一日ノ午後ニ回開會イタシマシタノデアリマシテ、政府委員モ出席イタサレテ種々説明ヲ承リマシタ、質問モ多々ゴザイマシタガ、結局一ノ希望條件ヲ付シテ全

會一致ヲ以チマシテ可決シタノデアリマス、此案ノ趣旨ハ戰後我國ニ及ボシタ所ノ影響ト致シマシテ、種々ナ工業ガ勃興イタシマシタ、ソレニ連レマシテ現行ノ關稅ヲ根本的ニ整理スルコトノ必要ガアルノデアリマスガ、頗ル其範圍ガ廣ク且ツ複雜デアリマスガ爲ニ、之ヲ完成スルニハ相當ノ時日ヲ要シマスルコトデアリマスルガ故ニ、唯今ノ所デハ差當リ急速ヲ要スルモノ、ミヲ限ッテ關稅ノ改正ヲシャウト云フノガ、此案ノ趣旨デアリマシテ、其主ナルモノハ第一ニハ、戰時中ニ勃興シタ染料及ビ薬品ノ工業ニ對シテ相當ノ保護ヲ加ヘルト云フコト、第二ニハ各種原料ノ輸入稅ヲ免ズルコト、第三ガ外國品ノ不當廉賣ニ對シテ、我國ノ產業ニ危害ヲ及ボス虞アル場合ニハ、之ニ對スル策トシテ、其廉賣品ニ對シテ相當ノ附加稅ヲ、相當ノ附加ノ關稅ヲ賦課スル、ソレト第四ガ此度酒造稅ガ改正ニナリマシタニ付キマシテ、其均衡上輸入酒類ニ對シテ相當ノ輸入稅率ヲ增加スル、是ガ第四デアリマス、此四ツノ點ガ改正案ヲ提出セラレマシタル所ノ主ナル骨子デアリマス、然ルニ又此以外ニ例ヘバ曹達工業デアルトカ、加里工業デアルトカ、亞鉛鐵工業ノ如キモノガアリマシテ、是モ矢張リ稅率ヲ按排シテ相當ノ保護獎勵スル所ノ必要ガアルモノト認メマスニモ拘ラズ、今回何等是等ノ點ニハ、此案ガ觸レテ居ラヌノデアリマス、デ委員會ニ於キマシテ、委員ノ全部ハ皆此必要ヲ認メタ所デモアリマスシ、又衆議院ニ於キマシテ、此點ニ付キマシテハ同様之ヲ加ヘタラ宜カラウト云フ必要ヲ認メテ居リマシテ、此案ニ對シテハ衆議院ニ於テハ一ツノ希望條件ヲ付シテ居ルノデアリマス、ソレハ、政府ハ速ニ曹達加里、亞鉛鐵等重要ナル產業ノ狀態ヲ調査シ、適當ナル關稅政策ヲ確定スルニ努ムベシ、斯ノ如キ希望ノ決議ヲ附帶ヲ致シマシテ、サウシテ此案ニ衆議院ニ於テハ賛成ヲシテ居ルノデアリマス、可決ヲシタノデアリマス、貴族院ニ於キマシテモ、恰モ此案ト同様ナ希望ノ決議ヲ致シマシテ、當委員會ニ於テハ政府ノ所感ヲ尋ネマシタ所ガ、政府ノ認メマスニハ誠ニ是ハ尤モノコトデアルカラシテ、成ルベク早キ機會ニ於テ實效ヲ舉ゲルベク誓テ努力スルト云フ明カナル答辯ガアルノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイモノト考ヘマス、尙ホ此委員會ニ於キマシテハ、質問ハ澤山ゴザイマシテ、其質問ノ中デモ人造藍ノコトニ付テハ、隨分質問ガ多カッタノデアリマス、又染料政策

ノコトニ關シマシテハ、有益ナ質問ガ中々澤山アツタノデアリマス、尙ホ又他ニ不當廉賣審査會ニ關スル有益ナル所ノ注意モ澤山アツタノデアリマスガ、是等ハ一々此場合ニ於テ御紹介スルト徒ニ長クナリマスカラ總テ省キマス、何

卒速記録デ此點ハ御覽アラムコトヲ希望イタシマス、大體右様ノ委員會ノ經過デアリマスノデ御報告申上グマスカラ、ドウゾ御賛成ヲ請ヒタイモノト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵柳原義光君 第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニト云フ意味デスカ

○伯爵柳原義光君 直チニト云フ意味デゴザイマス

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○侯爵蜂須賀正韶君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明二十四日ハ本會議ヲ休

ミマス、次ノ議事日程ハ決定次第、本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後二時二十七分散會

大正九年七月二十三日